

第2期鳥取市創生総合戦略の令和6年度実績について

1. 基本目標の達成状況

柱	基本目標	内部評価						外部評価				
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑤未達成	①または②の割合	①	②	③	④	①または②の割合
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2	計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	0	2	1	0	0	66.7%	0	1	2	0	33.3%
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	2	1	0	0	0	100.0%	2	1	0	0	100.0%
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	1	3	3	0	0	57.1%	1	3	3	0	57.1%
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	1	3	0	0	1	80.0%	1	3	0	1	80.0%
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	1	2	1	0	1	60.0%	1	2	1	1	60.0%
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	2	0	0	0	0	100.0%	2	0	0	0	100.0%
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	1	3	0	1	0	80.0%	1	3	0	1	80.0%
合計		8	14	5	1	2	73.3%	8	13	6	3	70.0%

2. KPI（重要業績評価指標）の達成状況

柱	基本目標	内部評価						外部評価				
		①順調/達成	②概ね順調	③やや遅延	④遅延	⑤未達成	①または②の割合	①	②	③	④	①または②の割合
		100%以上	80%~99%	60%~79%	0%~59%	※1	※2	計画どおり	ほぼ計画どおり	目標をやや下回る	目標を大きく下回る	※3
次世代の鳥取市を担うひとづくり	結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり	4	3	1	0	0	87.5%	4	3	1	0	87.5%
	ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり	1	4	1	1	0	71.4%	1	4	1	1	71.4%
誰もが活躍できるしごとづくり	稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり	8	4	5	8	0	48.0%	8	4	6	7	48.0%
にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり	都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり	6	4	1	1	0	83.3%	5	5	1	1	83.3%
	快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり	3	8	1	1	0	84.6%	3	8	1	1	84.6%
	健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり	3	2	4	0	0	55.6%	3	2	4	0	55.6%
	誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり	8	2	1	2	0	76.9%	8	2	1	2	76.9%
合計		33	27	14	13	0	69.0%	32	28	15	12	69.0%

※1 指標の特性上「できた」「できなかった」で評価したもののうち、「できなかった」に属するもの

※2 ①「順調/達成」または②「概ね順調」の割合 (①②÷①②③④⑤)

※3 ①「計画どおり」または②「ほぼ計画どおり」の割合 (①②÷①②③④)

第2期創生総合戦略の施策評価について

2

●内部評価について

- 各施策の令和6年度の実績を踏まえ、達成率や取組の状況、評価区分（①順調 ②概ね順調 ③やや遅延 ④遅延 ⑤未達成）、担当課意見を内部評価としてまとめています。
- 達成率は令和6年度実績／年次目標値により算出しています。

<評価の目安>

（パターンA）年次目標値に対する達成度で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	順調	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和6年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
②	概ね順調	80%～99%	
③	やや遅延	60%～79%	
④	遅延	0%～59%	

（パターンB）指標の性質上、「できた」「できなかった」で評価するもの

評価区分		達成率区分	評価にあたっての目安・留意事項
①	達成	100%以上	評価コメント（課題・今後の方向性等）欄は、令和6年度の実績や成果を踏まえて記載しています。
②	未達成	0%～99%	

●総合企画委員評価（外部評価）について

評価区分	評価の内容
①	計画以上に進捗しており、十分評価できる。今後も継続して施策の推進に努めてほしい。
②	ほぼ計画通りに進捗しており、一定の評価はできる。今後も計画以上の進捗に向け施策の推進に努めてほしい。
③	目標をやや下回る要因の分析を要する。今後の進め方を再度検討する必要がある。
④	目標を大きく下回っており、その要因の分析と施策の見直しが必要である。

第2期鳥取市創生総合戦略 施策体系

I	ひと と こ ろ	【基本目標Ⅰ－１】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり
		○ 結婚・出産・子育て支援
		【基本目標Ⅰ－２】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり
		○ 教育の充実・郷土愛の醸成 ○ 生涯学習の推進
II	こ し え の ち か ら	【基本目標Ⅱ－１】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり
		○ 持続可能な経済成長の実現 ○ 工業の振興 ○ 商業とサービス業等の振興 ○ 農林水産業の成長産業化
III	ま ち づ く り	【基本目標Ⅲ－１】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり
		○ ふるさと・いなか回帰の促進 ○ 滞在型観光の推進 ○ シティセールスの推進 ○ 文化芸術によるまちづくりの推進 ○ 自治体間連携の推進
		【基本目標Ⅲ－２】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり
		○ 生活基盤の充実 ○ 中心市街地の活性化 ○ 魅力ある中山間地域の振興 ○ 交通ネットワークの充実 ○ 地域情報化の推進
		【基本目標Ⅲ－３】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり
		○ スポーツ・レクリエーションの振興 ○ 健康づくり・疾病予防・介護予防の推進
		【基本目標Ⅲ－４】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり
		○ 協働のまちづくりの推進 ○ 地域福祉のまちづくりの推進 ○ 超高齢社会に向けたまちづくりの推進 ○ 多文化共生のまちづくりの推進 ○ 地域防災力の向上

3. 評価指標ごとの達成状況

【柱Ⅰ】次世代の鳥取市を担うひとづくり

【基本目標Ⅰ－１】結婚・出産・子育ての希望がかなうまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画 委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値 目標	1	鳥取市の 合計特殊 出生率	一人の女性が一生に産 む子どもの平均数として 算出された当該年の 人口統計上の数値。	目標値 (単年)	-	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	② 概ね 順調	合計特殊出生率は、平成30年以降概ね1.5 前後で推移していたが、令和5年から低下 し、令和6年は市試算値で1.32となった。 合計特殊出生率低下の社会経済要因とし て、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども 数の減少、若年層の転出超過が考えられ、 「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生 活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難 さ」「育児負担の重さ」「魅力的な就業機会 の不足」などの影響を受けていると考える。 少子化の要因をしっかりと踏まえて、若者 の意見を取り入れた実効性のある施策を実施 し、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 ※令和6年の県内市町村別の合計特殊出生率 の県公表は、今年度後半になる見込みのため、 評価は市試算値で実施する。	地方創 生推進 室	③ 目標をや や下回る
				実績値 (単年)	-	1.50	1.48	1.54	1.49	1.55	1.40	1.32					
				達成率	%	-	-	-	94.9%	96.9%	86.4%	80.0%					
数値 目標	2	「子育て を楽し い」と 思う市民の 割合	当該年度実施の市民ア ンケート調査で中程度 の評価より高い回答を した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	70.0	-	② 概ね 順調	令和6年度に実施した市民アンケートでは、 子育てを楽しんでいる方は61.1%で あった。 「子育てを楽しんでいる」と感じていただくため には、子育ての不安の解消や負担の軽減を図 る取組が必要であり、令和4年度よりスター トした「子育てアプリ」での子育てに関する 情報発信、令和6年度に設置した「こども家庭 センター（こそだてらす）」による妊娠期から 子育て期を通じた切れ目のない相談支援、 また、子育て支援センターによる相談支援な どを今後も継続していく。	こども 未来課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	%	-	66.0	-	-	-	-	61.1	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	87.3%	-				
数値 目標	3	「子育て しやすい 環境」と 思う市民 の割合	当該年度実施の市民ア ンケート調査で「子育て しやすい（子育てし やすかった）」と回答 をした市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	③ やや 遅延	令和6年度に実施した市民アンケートでは、 「鳥取市は子育てしやすい」と思われる方 が48.2%であった。 同アンケートにおいて子育てしやすい環境 に必要なものとして、「子育てに係る経済的 支援の充実」や「保育施設等保育環境の充 実」などがあげられており、妊産婦に係る給 付事業や小児医療費の無償化などの経済的支 援、こども誰でも通園制度といった成育環境 の整備を今後も継続していく。	こども 未来課	③ 目標をや や下回る
				実績値 (単年)	%	-	61.5	-	-	-	-	48.2	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	74.2%	-				

【重点施策】結婚・出産・子育て支援

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	R3～7年度の麒麟のまち婚活サポートセンター登録者の成婚数の累計。	目標値(単年)	組	-	-	-	6	6	6	6	6	③ やや遅延	令和6年度は、会員同士の成婚報告数の単年の目標値に到達しなかった。カップル成立後、交際まで進展するカップルが少ないため、引き続き婚活アドバイザーとして活躍する方に本事業のブラッシュアップを図るとともに、サークル活動による会員同士の交流促進を図るなど、解消しにくいカップルの成立を目指すことで成婚につなげ、結婚を望む人の希望をかなえられるよう取り組む。	政策企画課	③ 目標をやや下回る
				目標値(累計)	組	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値(単年)	組	-	6	8	7	6	1	4					
				実績値(累計)	組	-	-	-	7	13	14	18					
				達成率	%	-	-	-	116.7%	108.3%	77.8%	75.0%					
KPI	5	妊婦相談率	当該年度に妊婦が妊娠中に保健師等に相談した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	② 概ね順調	妊娠期から安心して子育てを迎えられるよう情報提供を行い、妊婦同士の交流を通して悩みや不安の軽減を図った。 妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援を行い、孤立を防ぎ安心して子育てできるように今後も継続して支援をしていく。	こども家庭センター	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	%	-	99.7	100	99.8	100	100	99.9					
				達成率	%	-	-	-	99.8%	100.0%	100%	99.9%					
KPI	6	新生児訪問の訪問率	当該年に保健師等が生後4か月未満の新生児を訪問した割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	100	100	100	100	100	② 概ね順調	子育てに関する不安などの相談等に応じ、母子が孤立せず安心して子育てができるよう今後も継続して支援していく。訪問できない場合は、電話での聞き取りや関係機関と連携し状況把握に努めていく。	こども家庭センター	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	%	-	98.9	98.0	97.1	97.6	98.0	98.7					
				達成率	%	-	-	-	97.1%	97.6%	98.0%	98.7%					
KPI	7	保育園の待機児童数(4月1日現在)	当該年度の4月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	① 達成	4月1日現在における待機児童数はゼロを継続している。 今後も施設整備等の支援や、保育ニーズに沿った受入調整を行い、待機児童ゼロを継続していく。	幼児保育課	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	0	0	0	0	0	0	0	0				
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	達成	達成					
KPI	8	保育園の待機児童数(10月1日現在)	当該年度の10月1日現在における保育園の入園申込みをしたにも関わらず入園できない状態にある児童の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	0	0	0	0	0	① 達成	10月1日現在における待機児童数は、目標値の0人を達成した。 今後も保育ニーズに沿った受け皿を確保する取組を進めていく。	幼児保育課	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	33	20	20	26	7	5	0					
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成	未達成	達成					
KPI	9	ファミリー・サポート・センターの提供会員及び両方会員数	会員は、①育児の援助を受けたい人(依頼会員)と②育児の援助を行いたい人(提供会員)及び③そのどちらも会員登録をした人(両方会員)があり、当該年度末の②及び③の数。	目標値(単年)	人	-	-	-	97	111	115	116	116以上	② 概ね順調	令和6年度は提供会員が3人増、両方会員は増減無しであった。 相互援助により育児の負担軽減や仕事との両立が図られるためには、提供会員、両方会員の更なる確保が必要であるため、引き続き取組を進めていく。	幼児保育課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	人	91	96	105	110	114	110	113					
				達成率	%	-	-	-	113.4%	102.7%	95.7%	97.4%					

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員会)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	発達相談から療育事業につながった幼児の継続した療育事業終了時のアンケートで、「満足」「ほぼ満足」と回答した保護者の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	80	85	90	95	100	① 順調	専門的スタッフによる親子通所療育、小集団療育を実施し、療育事業終了時のアンケートで、「満足」「ほぼ満足」と回答した保護者の割合が100%だった。 発達支援を必要とされる幼児、子育ての困難を抱える保護者からのニーズは高いものと考え、今後もより一層療育の充実を図っていく。	こども発達支援センター	① 計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	-	100	100	100	100	100					
				達成率	%	-	-	-	125.0%	117.6%	111.1%	105.3%					
KPI	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	男女がともに働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいると市が認定している当該年度末の企業数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	39	47	50	60	70	① 順調	令和6年度は、11件の新規申請・認定があり順調に増加している。 引き続き、認定企業を鳥取市公式ウェブサイトやリーフレットで紹介するなど、イメージアップにつなげ、取組事業者の拡大を促すことにより、市内企業における仕事と家庭の両立への配慮や、だれもが働きやすい職場環境づくりが推進されるよう取り組む。	男女共同参画課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	件	-	-	36	44	45	55	66					
				達成率	%	-	-	-	112.8%	95.7%	110.0%	110.0%					

6

【基本目標Ⅰー２】ふるさとを愛する心豊かな人財を育むまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることができる児童生徒の割合（小学校）	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることができる」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値 (単年)	%	-	-	-	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	① 順調	令和5年度より「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」という質問に変更になったため、実績値が高くなっている。令和6年度は全国平均並である。 今後も児童が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育んでいく。	学校教育課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	%	45.7	46.4	調査なし	50.8	51.3	78.7	83.3					
				達成率	%	-	-	-	90.7%	90.0%	135.7%	141.2%					
数値目標	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることができる児童生徒の割合（中学校）	当該年度実施の「全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査」で、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることができる」と回答した割合。 ※義務教育学校は、前期課程と後期課程に分けて集計。	目標値 (単年)	%	-	-	-	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	① 順調	令和5年度より「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」という質問に変更になったため、実績値が高くなっている。令和6年度は全国平均よりも3.6ポイント上回っている。各中・義務教育学校で地域の人・もの・事と関わる学習を工夫して設定している成果であるとする。 今後も生徒が体験や活動を通して地域について学んだり、貢献したりする機会を充実させ、自己有用感を感じられるようにすることで、地域を愛する気持ちを育んでいく。	学校教育課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	%	38.8	42.0	調査なし	45.9	42.9	71.6	79.7					
				達成率	%	-	-	-	112.0%	102.1%	166.5%	181.1%					
数値目標	14	生涯学習講座の参加者の満足度	当該年度実施の生涯学習講座参加者アンケートで、受講内容について「大変満足」または「満足」と回答した参加者の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	85.0	87.0	88.0	89.0	90.0	② 概ね順調	広報や各町との連携を進めた結果、圏内からの各講座参加者が令和6年度より増加した。また講座のネット配信も行ったことで、誰でも講座を見れる環境を提供した。 今後も講座内容や受講に関する仕組みをニーズに合ったものに見直し、新規の申込増加を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	83.0	57.0	83.3	92.0	85.0	88.0					
				達成率	%	-	-	-	98.0%	105.7%	96.6%	98.9%					

【重点施策】教育の充実・郷土愛の醸成

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（小学校）	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、平成30年度以降87%を上回っている。魅力と徹底の授業づくりを行っている成果であると考えられる。今後も、魅力と徹底の授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 とおり
				実績値 (単年)	%	87.5	88.2	88.8	88.8	87.1	87.1	88.9					
				達成率	%	-	-	-	98.7%	95.7%	94.7%	95.6%					
KPI	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（中学校）	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童生徒の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「授業がよくわかる」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は82.7%であり、高い水準を保っており、魅力と徹底の授業づくりを行っている成果であると考えられる。今後も、魅力と徹底の授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 とおり
				実績値 (単年)	%	80.0	80.2	81.1	82.9	83.0	81.9	82.7					
				達成率	%	-	-	-	101.1%	100.0%	97.5%	97.3%					
KPI	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小学校）	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した児童の割合は、89.4%で概ね順調である。今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 とおり
				実績値 (単年)	%	89.5	87.8	89.1	89.5	89.5	88.2	89.4					
				達成率	%	-	-	-	99.4%	98.4%	95.9%	96.1%					
KPI	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（中学校）	当該年度実施の「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0	② 概ね 順調	「鳥取市共通10項目アンケート調査」で「学校が楽しい」の質問に「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した生徒の割合は、89.5%で概ね順調である。今後も、特色ある学校づくり、魅力ある授業づくりを推進していく。	学校教育課	② ほぼ計画 とおり
				実績値 (単年)	%	86.9	88.3	89.3	87.5	89.7	89.4	89.5					
				達成率	%	-	-	-	98.3%	99.7%	98.2%	97.3%					

【重点施策】生涯学習の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	19	地区公民館事業の取組評価	当該年度実施の地区公民館事業自己評価において、中程度より高いと回答した事業の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	100	100	100	100	① 順調	令和4年度より、生涯学習事業実績報告に「生涯学習事業自己評価・点検シート」による自己評価を実施している。自己評価による実施事業内容の振り返りを行うことにより、次年度事業の取組に反映させていきたい。	生涯学習・スポーツ課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	-	-	-	100	100	100					
				達成率	%	-	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%					
KPI	20	地区公民館への専門職員の配置割合	当該年度末の社会教育士または社会教育主事任用資格を持つ者が配置された地区公民館の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	15.0	20.0	30.0	35.0	40.0	④ 遅延	1か月の受講金を要するため、日々の業務や勤務体制調整の観点から、中々受講が進まない状況であるが、取得者を着実に増やしている。 複数年の分割受講をうまく活用しながら、積極的な取得に向け引き続き案内をし、受講を促進していきたい。	生涯学習・スポーツ課	④ 目標を大きく下回る
				実績値 (単年)	%	-	12.0	12.0	12.0	13.0	18.0	19.0					
				達成率	%	-	-	-	80.0%	65.0%	60.0%	54.3%					
KPI	21	地域学校協働本部の設置数	地域学校協働本部を設置した当該年度末の小・中・義務教育学校区数。	目標値 (単年)	校区	-	-	-	10	14	14	30	43	③ やや遅延	達成率は前年度と比べ下がってしまったが、実績値は確実に伸ばしている。 目標達成に向け、地域学校協働本部を広めるための広報、学校運営協議会と地域学校協働本部をつなぐコーディネーターである、地域学校協働活動推進員の配置を進め、目標値を達成できるように努めていく。	生涯学習・スポーツ課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	校区	-	1	1	3	5	18	23					
				達成率	%	-	-	-	30.0%	35.7%	128.6%	76.7%					

【柱Ⅱ】誰もが活躍できるしごとづくり

【基本目標Ⅱ－１】稼ぐ地域・仕事と安定した雇用環境づくり

10

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	22	就業者1人あたりの市内GDP	就業者1人当たりの当該年度の市町村内総生産（名目）の本市の値。	目標値 (単年)	千円	-	6,800	6,970	7,140	7,310	7,478			② 概ね順調	令和4年度の総生産は7,109億と県内最大ではあるが公共工事減での建設業の押下げもあり前年比は2.4%マイナス、GDPも前年比3.54%のマイナスとなった。 達成率を上げるために、就業者一人ひとりが効率的に付加価値を作り出すことが重要であり、労働生産性向上に繋がる施策を推進していく。	経済・雇用戦略課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	千円	6,710	調査未実施	6,381	6,755	6,516							
				達成率	%	-	-	91.5%	94.6%	89.1%							
数値目標	23	大学生県内就職率	当該年度の県内2大学（学部卒）の全就職内定者のうち県内就職内定率。	目標値 (単年)	%	-	-	-	25.0	25.8	26.6	27.4	28.2	③ やや遅延	県内就職率は21.4%と、昨年度より0.6%減少した。人手不足を背景に、大都市圏や大手企業の採用活動が一層活発化しており、学生の流出傾向が続いている。 今後も、県やふるさと定住機構と連携を図りながら、学生が地域の魅力や県内企業の強みを早期に知る機会を充実させ、県内就職率の向上に努めていく。	経済・雇用戦略課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	%	23.4		17.2	17.7	21.3	22.0	21.4					
				達成率	%	-	-	-	70.8%	82.6%	82.7%	78.1%					
数値目標	24	市内製造品出荷額等	当該年の経済構造実態調査（製造業事業所調査（経済産業省））による製造品出荷額等の本市の値。	目標値 (単年)	億円	-	2,726	2,617	2,669	2,749	2,867			① 順調	目標達成率は約118%となっており、年度目標を達成した。原材料費や人件費の高騰など地元製造業を取り巻く環境は依然厳しい状況にある中、電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具製造業などが増加した。 要因としては、新型コロナウイルス収束による需要回復に加え、国際情勢が不安定な中、部品調達先などの国外から国内への転換、災害リスクに対応した拠点分散などが考えられる。 引き続き、県外の製造系企業の誘致と市内製造系企業の事業拡大・生産性向上に対する支援の取組を推進する。	企業立地・支援課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	億円	2,811	2,707	2,649	2,971	3,253							
				達成率	%	-	99.3%	101.2%	111.3%	118.3%							
数値目標	25	市内事業所数	当該年の経済センサス（基礎・活動）調査における事業所数の本市の値。	目標値 (単年)	件	-	-	-	8,882	-	-	9,018	-	② 概ね順調	目標達成率は約82%で、概ね順調である。目標値を少し下回った要因としては、新型コロナウイルスや物価高騰などの影響による経営悪化や、後継者不在による廃業などが考えられる。 引き続き、新規事業所の設立や既存事業所の維持を図るため、新規創業・開業に対する支援、経営に対する支援、事業承継に対する支援などの取組を推進する。 ※令和4年度・5年度は経済センサス活動調査の調査対象外年度であるため、令和6年度の実績値（経済センサス基礎調査速報集計）により評価を実施。	企業立地・支援課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	件	-	9,996	-	8,537	-	-	7,458	-				
				達成率	%	-	-	-	96.1%	-	-	82.7%	-				
数値目標	26	市内農業産出額	農林水産省が生産農業所得統計により推計した当該年の市町村別農業産出額の本市の値。	目標値 (単年)	億円	-	-	130	130	136	143	150		② 概ね順調	令和5年度は、令和4年度に続いて国際情勢の影響による、燃油、生産資材、肥料や飼料価格の高騰が本市の農業にも大きく影響を及ぼし、目標値を初めて下回ることとなった。 「鳥取県農業生産1千億達成プラン」や「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」を県や東部4町、JA等と連携し推進するとともに、経費削減や農業所得向上に資する支援策のより一層の強化を図っていく。	農政企画課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	億円	129	152	152	140	140	142						
				達成率	%	-	-	116.9%	107.7%	102.9%	99.3%						

指標 区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画 委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値 目標	27	市内木材 搬出量	当該年度の林業経営体の 経営計画に基づく市内の 間伐木材搬出量。	目標値 (単年)	m	-	-	-	43,303	45,478	47,652	49,826	52,000	③ やや 遅延	樹木の成長には間伐による森林整備が必要であるが、伐期を迎えた森林が多くなってきており、間伐から主伐への方針転換が進み、間伐木材搬出量が減少しており、目標が達成されていない。 今後も継続して間伐に対する支援を行う。 また、令和5年度より行っている、主伐に対する支援も継続して行う。	林務水 産課	③ 目標をや や下回る
				実績値 (単年)	m	-	38,955	39,381	34,015	33,309	34,833	33,147					
				達成率	%	-	-	-	78.6%	73.2%	73.1%	66.5%					
数値 目標	28	市内漁獲 量	当該年の海水面漁業の 市内漁獲量。	目標値 (単年)	t	-	-	-	2,203	2,203	2,203	2,203	2,203	③ やや 遅延	藻場の減少による磯焼けや海水温度の上昇による漁場環境の変化など、漁獲量は年々減少傾向となっている。 稚魚の放流や漁場環境の向上など栽培漁業に対する支援や、担い手の確保・育成に努め、漁獲量の維持に取り組んでいく。	林務水 産課	③ 目標をや や下回る
				実績値 (単年)	t	-	2,203	2,127	1,968	1,793	1,698	1,589					
				達成率	%	-	-	-	89.3%	81.4%	77.1%	72.1%					

【重点施策】持続可能な経済成長の実現

指標 区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画 委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	29	補助事業 (所得向上メニュー) 指定企業における 投下固定資産額の 累計	R3～7年度の立地促進 補助金（所得向上メニュー）指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値 (単年)	千円	-	-	-	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	④ 遅延	目標達成率は約41％に留まっており、遅延している。令和6年度においては、同補助金のうち、雇用人数の増を要件とするメニューの指定はあるものの、所得の向上を要件とするメニューの指定はなかった。 要因としては、国際情勢の悪化、物価高騰などの先行きに対する不透明感や、設備投資による生産性の向上と賃上げなどの従業員の処遇改善との両立の難しさが制度の活用を躊躇することにつながっていると考えられる。 人口減少が進行する中、安定的に労働力を確保するためには、生産性の向上により、労働時間の短縮や、賃金引上げなどの処遇改善を図っていくことが必要不可欠であり、引き続き、制度の活用を働きかけていく。	企業立 地・支 援課	③ 目標をや や下回る
				目標値 (累計)	千円	-	-	-	200,000	400,000	600,000	800,000	1,000,000				
				実績値 (単年)	千円	-	177,000	0	0	142,000	187,610	0					
				実績値 (累計)	千円	-	-	-	0	142,000	329,610	329,610					
				達成率	%	-	-	-	0.0%	35.5%	54.9%	41.2%					
KPI	30	市公式インターネット ショップ「とっとり市」の 売上金額の 累計	R3～7年度のインターネットショップの売上金額の累計。	目標値 (単年)	千円	-	-	-	26,692	32,030	38,436	177,157	55,349	① 順調	単年度売上は、前年度と比較し減少しているが、他財源を用いた長期間にわたる大型キャンペーンを実施していないためと考えられ、売上のベースは伸長しているものと考えられる。 令和6年度から運営の移管を実施し、「公式」から「公認」となったインターネットショップであるが、引き続きベースとなる売上水準を伸長させるため、参加店舗の拡大、状況に即応したキャンペーンの実施などの施策を実施していく。	経済・ 雇用戦 略課	① 計画ど おり
				目標値 (累計)	千円	-	-	-	26,692	143,435	181,871	359,028	414,377				
				実績値 (単年)	千円	-	23,210	63,616	111,405	114,687	86,812	77,906					
				実績値 (累計)	千円	-	-	-	111,405	226,092	312,904	390,810					
				達成率	%	-	-	-	417.4%	157.6%	172.0%	108.9%					
KPI	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者のうち、市内に就業した人数の累計	R3～7年度のインターンシップ参加者のうち、市内に就業した人数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	2	2	2	2	2	④ 遅延	令和6年度中のインターンシップ参加人数は2名にとどまった。今後は大学に訪問するなど、より広くインターンシップ事業について周知することに努めたい。 また、円安基調が維持され、金銭面での日本での就業の優位性が低下している状況にあるため、金銭面以外の優位性を発掘し、インターンシップ事業に活かしていく必要がある。	経済・ 雇用戦 略課	④ 目標を大 きくを下 回る
				目標値 (累計)	人	-	-	-	2	4	6	8	10				
				実績値 (単年)	人	-	2	0	0	0	1	0					
				実績値 (累計)	人	-	-	-	0	0	1	1					
				達成率	%	-	-	-	0.0%	0.0%	16.7%	12.5%					

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	32	市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計	R3～7年度の市内企業への就職を前提とした市内の日本語学校入学者数の累計。	目標値(単年)	人	-	-	-	10	10	10	10	10	③ やや遅延	目標達成率は75%となっており、やや遅延している。コロナ収束以降、入学者数は順調に増えており、令和6年度は39名が就職したものの、市内就職者は4人に留まった。 要因としては、市外企業に比べて日本語学校や外国人材の活用に対する関心が低いことが考えられる。 今後は、商工団体や金融機関などと連携し、改めて地域での外国人材の活用の促進に向けた取組を推進する。	企業立地・支援課	③ 目標をやや下回る
				目標値(累計)	人	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	人	-	10	9	0	22	4	4					
				実績値(累計)	人	-	-	-	0	22	26	30					
				達成率	%	-	-	-	0.0%	110.0%	86.7%	75.0%					
KPI	33	まちづくり投融資制度(投資・融資)の活用実績額の累計	R3～7年度のまちづくり投融資制度を活用した企業・創業に係る投資・融資の活用実績の合計額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	97,000	97,000	68,000	68,000	68,000	④ 遅延	目標達成率は0%となっており、大きく遅延している。対策として、これまでに制度の延長や対象地域の拡大などの見直しを行ったものの、実績のない状態が続いている。 要因としては、対象地域や遊休不動産活用など自由度の低い利用要件であることや、融資であれば既存の創業支援融資制度もあることが考えられる。 引き続き、商工団体や金融機関などと連携し、改めて制度の活用の促進に向けて取り組むほか、来年度以降の制度のあり方に関する検討を行う。	企業立地・支援課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	千円	-	-	-	97,000	194,000	262,000	330,000	398,000				
				実績値(単年)	千円	-	72,000	54,000	0	0	0	0					
				実績値(累計)	千円	-	-	-	0	0	0	0					
				達成率	%	-	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					
KPI	34	第三者承継補助金交付企業数の累計	R3～7年度の第三者承継を行うため専門家に相談する企業に対する補助金交付件数の累計。	目標値(単年)	社	-	-	-	10	10	10	10	10	④ 遅延	目標達成率は15%に留まっており、大きく遅延している。要因としては、後継者問題を抱える事業者の掘り起しが十分でないことや、事業者の第三者承継に対する抵抗感が少ない事が考えられる。 引き続き、専門機関、商工団体、金融機関などと連携し、個別相談会やセミナーの開催、必要な経費に対する補助などに取り組むことにより、第三者承継の取組を推進する。	企業立地・支援課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	社	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値(単年)	社	-	-	5	4	1	0	1					
				実績値(累計)	社	-	-	-	4	5	5	6					
				達成率	%	-	-	-	40.0%	25.0%	16.7%	15.0%					
KPI	35	農商工連携マッチング支援事業者数の累計	R3～7年度の農商工連携マッチング委託事業における支援事業者数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	25	25	25	25	25	① 順調	目標達成率は112%となっており、年度目標を達成した。要因としては、首都圏での営業活動や商談会を積極に行ったことで、販路拡大が促進されたことが考えられる。 引き続き、委託先である鳥取商工会議所と連携し、生産物、技術販路などのマッチングやコーディネートなどの取組を行うことにより、本市の地域資源をいかした商品開発を促進する。	企業立地・支援課	① 計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	25	50	75	100	125				
				実績値(単年)	件	-	25	29	24	25	31	32					
				実績値(累計)	件	-	-	-	24	49	80	112					
				達成率	%	-	-	-	96.0%	98.0%	106.7%	112.0%					

【重点施策】工業の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	R3～7年度の立地促進補助金指定企業の計画投下固定資産額の累計。	目標値(単年)	億円	-	-	-	50	50	50	50	50	②概ね順調	目標達成率は約85%で、概ね順調である。目標値を少し下回った要因としては、近年、県外製造業系企業などの進出による大型投資案件がないことや、市内企業が国際情勢の悪化、物価高騰などの不安定な情勢の中で、設備投資による事業拡大や生産性の向上の取組を躊躇していることが考えられる。企業による国内投資が活発化している現状を踏まえ、鳥取県などと連携し、引き続き、製造業や事務系などの県外企業の誘致に向けた取組を推進するとともに、市内企業の設備投資を促進するため、積極的な制度活用を働きかけていく。	企業立地・支援課	②ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	億円	-	-	-	50	100	150	200	250				
				実績値(単年)	億円	-	50.2	30.1	36.7	21	82.9	29					
				実績値(累計)	億円	-	-	-	36.7	57.7	140.6	169.6					
				達成率	%	-	-	-	73.4%	57.7%	93.7%	84.8%					
KPI	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	R3～7年度の鳥取市産学官連携地域経済活性化事業補助金活用件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	1	1	1	1	1	④遅延	本施策は、産学官連携による新技術開発事業の活用を通じて、工業振興を図ることを目的としているが、令和5年度に補助制度を廃止したことに伴い、令和6年度においても事業活用実績は確認されなかった。今後は、産学官連携による支援の必要性や有効性について引き続き検討を進めるとともに、実情に即した施策のあり方について整理を図っていく。	経済・雇用戦略課	④目標を大きく下回る
				目標値(累計)	件	-	-	-	1	2	3	4	5				
				実績値(単年)	件	-	0	0	0	0	0	0					
				実績値(累計)	件	-	-	-	0	0	0	0					
				達成率	%	-	-	-	0%	0.0%	0.0%	0.0%					
KPI	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	R3～7年度の鳥取市国際経済発展協議会における地元企業の貿易相談等、マッチング支援件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	177	177	177	177	177	④遅延	通訳・翻訳に関する依頼は増加傾向にあったものの、企業からの貿易相談等、マッチング支援件数の数は落ち込んだ。今後はさらに海外との貿易も活発化していく中で、積極的に地元企業への働きかけを行う必要がある。	経済・雇用戦略課	④目標を大きく下回る
				目標値(累計)	件	-	-	-	177	354	531	708	885				
				実績値(単年)	件	-	161	151	103	116	106	56					
				実績値(累計)	件	-	-	-	103	219	325	381					
				達成率	%	-	-	-	58.2%	61.9%	61.2%	53.8%					

【重点施策】商業とサービス業等の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	39	新規のオフィス設置数（市関与分）の累計	R3～7年度の市が関与した県外からのオフィスの新築・移転件数の累計。	目標値(単年)	件	-	-	-	2	2	2	3	4	① 順調	目標達成率は約133%となっており、年度目標を達成した。要因としては、鳥取県などと連携し、積極的な誘致活動を展開したことが考えられる。 引き続き、本市におけるビジネスの可能性や支援制度をアピールしつつ、県外の課題解決型企業や製造系企業の設計開発部門などのオフィス開設に向けた取組を推進する。	企業立地・支援課	① 計画どおり
				目標値(累計)	件	-	-	-	2	4	6	9	13				
				実績値(単年)	件	-	0	1	1	1	7	3					
				実績値(累計)	件	-	-	-	1	2	9	12					
				達成率	%	-	-	-	50.0%	50.0%	150.0%	133.3%					
KPI	40	「鳥取市ふるさと物産館」等の売上金額の累計	R3～7年度の鳥取市ふるさと物産館の売上金額を含む観光コンベンション協会の物産部門での売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	30,774	30,775	30,774	30,775	30,789	① 順調	店頭売上がコロナ前を上回った。他方、インターネットなどの非リアルでの売上が落ち込んでいる。 別指標のインターネットショップ事業を令和6年度より引き継いだことを契機と捉え、リアルと非リアルを両輪とし、安定して成長できる環境作りが必要である。	経済・雇用戦略課	① 計画どおり
				目標値(累計)	千円	-	-	-	30,774	61,549	92,323	123,098	153,887				
				実績値(単年)	千円	-	38,908	30,484	27,741	30,533	34,920	42,954					
				実績値(累計)	千円	-	-	-	27,741	58,274	93,194	136,148					
				達成率	%	-	-	-	90.1%	94.7%	100.9%	110.6%					
KPI	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	R3～7年度の麒麟のまち関西情報発信拠点の飲食及び物販の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	77,026	77,025	77,026	77,025	77,026	④ 遅延	平成29年度4月のオープン以来、圏域連携によるエリアプロモーション事業を展開し延べ約35万人の方に来場者いただいているが、売上には伸び悩みが見られる。 今後も交流人口の増加、移住定住の促進、圏域産品のPRなど販路拡大の拠点施設の役割を担い、麒麟のまち圏域の情報発信拠点の役割を継続する。また2025大阪・関西万博に関連し、多くのお客様に圏域の魅力を知っていただくよう取り組んでいく。	経済・雇用戦略課	④ 目標を大きく下回る
				目標値(累計)	千円	-	-	-	77,026	154,051	231,077	308,102	385,128				
				実績値(単年)	千円	-	72,703	36,024	30,153	44,054	46,569	46,949					
				実績値(累計)	千円	-	-	-	30,153	74,207	120,776	167,725					
				達成率	%	-	-	-	39.1%	48.2%	52.3%	54.4%					
KPI	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	R3～7年度の市公設地方卸売市場の卸売業者4社の売上金額の累計。	目標値(単年)	千円	-	-	-	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	7,340,755	② 概ね順調	令和8年2月末の全面供用開始に向け、再整備事業を進めている。令和5年度には水産物棟等の一部棟の供用を開始。令和6年度には、前年度に設計が完了したその他棟の施工を行う。 事業者の営業をき損せず、再整備事業を着実に実施するとともに、機能面が強化された施設の優位性をいかし、販売数量の増加を事業者に促していく取組が必要である。	経済・雇用戦略課	② ほぼ計画どおり
				目標値(累計)	千円	-	-	-	7,340,755	14,681,510	22,022,265	29,363,020	36,703,775				
				実績値(単年)	千円	-	7,340,755	7,470,724	7,145,773	6,978,902	7,000,969	7,461,885					
				実績値(累計)	千円	-	-	-	7,145,773	14,124,675	21,125,644	28,587,529					
				達成率	%	-	-	-	97.3%	96.2%	95.9%	97.4%					

【重点施策】農林水産業の成長産業化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	43	市内の新規農業担い手の累計	R3～7年度の市内の新規就農者、認定農業者の新規認定件数及び農業生産法人、集落営農組織などの新規設立件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	14	14	14	14	14	③ やや 遅延	認定新規農業者や認定農業者を目指す方が少なかったため、目標を下回った。 今後、とっとりふるさと就農舎での新規就農者の育成をはじめ、規模拡大を目指す意欲ある農業者や集落営農組織化を予定する集落を支援し、担い手の確保を図っていく。	農政企画課	③ 目標をやや下回る
				目標値 (累計)	件	-	-	-	14	28	42	56	70				
				実績値 (単年)	件	-	10	7	13	8	7	9					
				実績値 (累計)	件	-	-	-	13	21	28	37					
				達成率	%	-	-	-	92.9%	75.0%	66.7%	66.1%					
KPI	44	市内の新規林業従事者数の累計	R3～7年度の市の研修事業実施に伴う市内の新規林業従事者数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	6	6	6	6	6	① 順調	新規就業者数は順調に伸びており、目標を達成している状況であるが、林業労働者の高齢化、担い手不足の状況は変わっておらず、林業労働者の福祉向上、労働条件の改善を図り、担い手の育成に取り組んでいく。	林務水産課	① 計画どおり
				目標値 (累計)	人	-	-	-	6	12	18	24	30				
				実績値 (単年)	人	-	6	3	7	10	8	5					
				実績値 (累計)	人	-	-	-	7	17	25	30					
				達成率	%	-	-	-	116.7%	141.7%	138.9%	125.0%					
KPI	45	市内の新規漁業就業者数の累計	R3～7年度の市内の新規漁業就業者数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	3	2	1	2	1	④ 遅延	新規就業を目指し、技術習得のための研修費用に対する支援や漁船や漁具のリース事業に対する支援を行い、1名が新規就業したが、漁業就業者数は減少傾向にある。 今後も研修等の事業に要する経費を支援し、減少傾向にある担い手の確保・育成に取り組んでいくとともに、漁業・水産業の魅力の発信や地域住民等との港を活用したイベントなどを通して、「海業（うみぎょう）」による水産振興に取り組んでいく。	林務水産課	④ 目標を大きく下回る
				目標値 (累計)	人	-	-	-	3	5	6	8	9				
				実績値 (単年)	人	-	0	1	1	1	1	1					
				実績値 (累計)	人	-	-	-	1	2	3	4					
				達成率	%	-	-	-	33.3%	40.0%	50.0%	50.0%					
KPI	46	市戦略作物の出荷量	当該年度の戦略作物のうち、3種（アスパラガス、ブロッコリー、生姜）の出荷量。	目標値 (単年)	t	-	-	-	45	46	48	50	53	③ やや 遅延	出荷量は27.4トンで、令和2～5年度から横ばいで推移していたものの、目標を下回った。（R5比 ブロッコリー▲5t、アスパラガス▲1t、生姜▲3t） 引き続き、研修会や指導会等による技術対策の徹底により品質向上と安定生産に努める。特にアスパラガスは、鳥取型低コストハウスによる施設化やJA独自のアタック8・8・8パイプハウスリース事業を推進し、より収益性の高い作付体系へ誘導を図っていく。	農政企画課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	t	-	45	34	35	36	36	27					
				達成率	%	-	-	-	77.8%	78.3%	75.0%	54.0%					
KPI	47	キジハタ漁獲量	当該年のキジハタ漁獲量。	目標値 (単年)	t	-	-	-	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	③ やや 遅延	キジハタは漁獲対象サイズになるまで3年以上かかること、また、漁獲サイズに満たない場合は再放流するなどの資源管理を行っているため、漁獲量はやや伸び悩んでいる。 稚魚放流を県と連携して支援しており、漁獲量と放流量の関係を検証しながら稚魚放流を支援し、減少傾向にある漁獲量の維持に取り組んでいくとともに、新規就業者の育成・確保に努めていく。	林務水産課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	t	-	4.9	5.1	3.5	2.8	3.2	3.3					
				達成率	%	-	-	-	71.4%	57.1%	65.3%	67.3%					

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員会)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	48	担い手農家への農地集積率	R7年度の担い手農家への農地集積面積の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	26.3	29.7	33.1	36.5	40.0	③ やや遅延	担い手農家の減少や農業経営の規模を拡大し農地を集積する農業者が少なかったため、令和6年度の集積率は25.2%と目標を下回ったが、徐々に集積率は増加している。 引き続き、新規就農者や意欲ある農業者へ機械施設整備支援等を行い、作業効率の向上や作業コストの低減を図りながら、農地集積率の向上に取り組んでいく。	農政企画課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	%	24.5	23.4	22.9	22.2	22.6	24.4	25.2					
				達成率	%	-	-	-	84.4%	76.1%	73.7%	69.0%					
KPI	49	森林経営計画等作成面積	当該年度の本市の森林経営計画及び経営管理集積計画作成面積。	目標値 (単年)	千ha	-	-	-	10	11	12	13	14	① 順調	現段階では順調に森林経営計画等の作成面積は目標を達成している。森林は植林から伐採まで長期に時間を要するため、計画的な施策が必要となる。また、効率的な森林施策には、一定規模の森林面積が必要であり、森林の集約化のためにも森林経営計画の作成は必要である。 今後も、森林経営管理法（平成30年制定）に基づく森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進に取り組んでいく。	林務水産課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	千ha	-	9	10	11	11	13	13					
				達成率	%	-	-	-	110.0%	100.0%	108.3%	100.0%					
KPI	50	農畜産物の販路拡大マッチング件数	R3～7年度の生産者とバイヤー等消費者との農畜産物の商談成立件数（市関与分）の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	6	6	6	9	10	① 順調	商談会を47回開催し、目標を上回る45件の商談成立となった。 引き続き、地域商社ととり等と連携した商談会の開催や催事等への出席により新たな販路開拓を行うとともに、首都圏への展開や事業で得た関西圏等のニーズを産地にフィードバックし、産地化への取組を更に推進していく。	農政企画課	① 計画どおり
				目標値 (累計)	件	-	-	-	6	12	18	60	70				
				実績値 (単年)	件	-	7	7	10	15	26	45					
				実績値 (累計)	件	-	-	-	10	25	51	96					
				達成率	%	-	-	-	166.7%	208.3%	283.3%	160.0%					
KPI	51	6次産業化取組支援件数の累計	R3～7年度の6次産業化の取組に対する支援件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	1	1	5	1	1	① 順調	令和6年度の補助申請実績2件であった。 引き続き、県・金融機関・商工団体等と連携し、農業者の所得向上と地域経済の活性化に有効な6次産業化を推進していく。	農政企画課	① 計画どおり
				目標値 (累計)	件	-	-	-	1	2	7	8	9				
				実績値 (単年)	件	-	0	2	4	2	0	2					
				実績値 (累計)	件	-	-	-	4	6	6	8					
				達成率	%	-	-	-	400.0%	300.0%	85.7%	100.0%					
KPI	52	多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合	当該年度末の農業振興地域内の農用地面積に占める多面的機能支払交付金対象の農用地面積の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	50.0	51.0	52.0	53.0	54.0	② 概ね順調	市内130組織（2,829ha）が地域共同で農用地・水路・農道等の保全活動等に取り組むことで、活動区域内における耕作放棄地の新規発生を抑えた。 今後は、取り組みを一層推進し、地域資源の保管理や施設の長寿命化の促進により、農業・農村の多面的機能の発揮を図る。	農村整備課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	49.2	49.2	50.2	53.7	52.4	52.6					
				達成率	%	-	-	-	100.4%	105.3%	100.8%	99.3%					
KPI	53	スマート農業支援件数の累計	R3～7年度の先進技術の導入・実証などの取組への支援件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	2	15	7	3	3	② 概ね順調	物価の高騰により農業機械が高騰しており、農業者も機械導入を見合わせている状況であり、令和6年度の単年目標の3件に対し2件とほぼ達成しているものの、累計目標は達成できなかった。 引き続きスマート農業技術の普及を推進するとともに、新たな意欲ある農業者（担い手）を育成・支援することで、本市の農業の振興を図っていく。	農政企画課	② ほぼ計画どおり
				目標値 (累計)	件	-	-	-	2	17	24	27	30				
				実績値 (単年)	件	-	2	35	7	9	6	2					
				実績値 (累計)	件	-	-	-	7	16	22	24					
				達成率	%	-	-	-	350.0%	94.1%	91.7%	88.9%					

【柱Ⅲ】にぎわいにあふれ安心して暮らせるまちづくり

【基本目標Ⅲ－１】都市部等とのつながりを築き、人が行きかうまちづくり

17

指標 区分	No.	評価指標	指標の説明	種 別	単 位	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画 委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値 目標	54	移住定住 者数	R3～7年度に本市に移 住した人数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	480	480	480	480	480	② 概ね 順調	順調に移住者数を増加させ、目標を概ね達 成することができた。 今後も情報発信や丁寧な相談対応に努める とともに、市内高校生や県外に進学した学生 に対する取組など、各部局の事業と連携をとり ながら、様々なチャンネルを通じて移住定 住を促進していきたい。 ※実績値は、4月時点の鳥取市調べ。	地域振 興課	② ほぼ計画 どおり
				目標値 (累計)	人	-	-	-	480	960	1440	1920	2400				
				実績値 (単年)	人	-	359	389	462	458	451	507					
				実績値 (累計)	人	-	-	-	462	920	1371	1878					
				達成率	%	-	-	-	96.3%	95.8%	95.2%	97.8%					
数値 目標	55	観光入込 客数	県が発表する「鳥取砂 丘・いなば温泉郷周 辺」の年間観光入込客 数。	目標値 (単年)	万人	-	-	-	300.0	302.5	305.0	307.5	310.0	① 順調	目標を上回る実績となった。引き続き、周 遊・滞在型の観光を促進し、国内外からの観 光誘客を図る。	観光・ シオ パーク 推進課	① 計画どお り
				実績値 (単年)	万人	-	295.0	170.0	187.0	243.0	311.0	335.0					
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%	102.0%	108.9%					
数値 目標	56	市民愛着 度	当該年度実施の市民 アンケート調査におい て、「本市に愛着や親 しみを感じている」と 回答した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	65.0	-	② 概ね 順調	令和6年度は令和元年度と比較し実績値が 低下しており、目標に到達しなかった。様々 な手法の情報発信により市民のシティプライ ドを醸成し、市民の鳥取市への愛着度の向上 に努めてきたが、これまでの取組を踏まえな がら、引き続き市民愛着度の向上・進化につ なげる効果的な取組を検討する。	政策企 画課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	%	-	61.5	-	-	-	-	55.9	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	86.0%	-				
数値 目標	57	地域魅力 度	ブランド総合研究所が 行う当該年の地域ブラン ド調査結果	目標値 (単年)	位	-	-	-	154	140	127	113	100	⑤ 未達 成	地域魅力度の順位が令和4年度より低下が 続いており、目標順位には到達しなかった。 引き続き、庁内全体におけるシティセール ス関連事業の取組状況を分析し、本市の魅力 の向上・浸透につながるようシティセールの 視点を踏まえた施策の推進を図る。	政策企 画課	④ 目標を大 きくを下 回る
				実績値 (単年)	位	-	181	187	218	171	179	220					
				達成率	-	-	-	-	未達成	未達成	未達成	未達成					
数値 目標	58	麒麟のま ち圏域の 人口	麒麟のまち圏域構成市 町の当該年の国勢調査 人口の合計値。 ※「現状値」は、県が 発表する構成市町の10 月1日の推計人口の合計 値。	目標値 (単年)	人	-	-	-	251,631	249,914	248,197	246,480	244,763	② 概ね 順調	達成率は緩やかな減少が続いている。令和 5年度開始の「第2期因幡・但馬麒麟のまち 連携中枢都市圏ビジョン」に基づき、圏域市 町で連携して取組を進めることで、人口減 少・少子高齢社会であっても、持続可能で魅 力ある圏域の形成・発展に取り組む。 ※R6実績値は、県が発表するR6年10月1日 の推計人口の合計値。	政策企 画課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	人	-	255,065	253,874	251,109	248,626	245,241	242,083					
				達成率	%	-	-	-	99.8%	99.5%	98.8%	98.2%					

【重点施策】ふるさと・いなか回帰の促進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	59	移住相談登録者数	本市への移住に向けて相談員によるサポートを希望するために相談登録を行った当該年度の人件数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	200	250	320	400	500	③ やや遅延	単年度の移住相談登録者数は、前年度より増加させることができたが、目標値には達することができなかった。 目標値の達成に向けては、各種SNSや移住定住専用ポータルサイトでの情報発信に加え、関係期間や他部署の取組に係る情報収集に努めるとともに、本市の魅力を発信する取組を実施していく。	地域振興課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	人	-	449	223	168	287	233	272					
				達成率	%	-	-	-	84.0%	114.8%	72.8%	68.0%					
KPI	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	R3～7年度の移住希望者等が賃貸又は購入できる物件の登録件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	10	10	10	10	10	① 順調	11件の空き家登録があり、目標を達成することができた。中山間地域の空き家利活用は地域団体等と連携して実施しているが、地域は空き家と捉えていても物件所有者は空き家と考えていない場合や、空き家と認識しているが急ぎ対応する必要はないと考えている場合がある。さらには、活用できそうな状態の良い空き家でも所有者が不明というものもあり、様々な要因で登録が進んでいない。 今後は、空き家の利活用啓発や法に基づく固定資産税の納税情報の活用を図りつつ、引き続き地域団体等と連携した取組を行っていく。	地域振興課	② ほぼ計画どおり
				目標値 (累計)	件	-	-	-	10	20	30	40	50				
				実績値 (単年)	件	-	9	17	9	9	13	11					
				実績値 (累計)	件	-	-	-	9	18	31	42					
				達成率	%	-	-	-	90.0%	90.0%	103.3%	105.0%					
KPI	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	R3～7年度の中山間地域魅力ある民泊推進事業の補助団体の累計。	目標値 (単年)	団体	-	-	-	1	1	1	2	2	④ 遅延	1件補助予定であったが、事業未実施のため実績が0となった。 引き続き事業者に対し、本事業の周知を再度行い、より多くの民泊施設整備につなげていく。	地域振興課	④ 目標を大きく下回る
				目標値 (累計)	団体	-	-	-	1	2	3	5	7				
				実績値 (単年)	団体	-	1	0	1	0	1	0					
				実績値 (累計)	団体	-	-	-	1	1	2	2					
				達成率	%	-	-	-	100.0%	50.0%	66.7%	40.0%					
KPI	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	R3～7年度の関係人口拡大にむけた取組を実施する団体等の累計。	目標値 (単年)	団体	-	-	-	1	2	2	1	1	① 順調	単年の実績値は2件であった。既存の団体による取組は継続して行われており、関係人口の拡大による地域活性化事例について地域情報発信を行い、取組の促進を図っているところである。 引き続き、既存団体の取組事例を幅広く周知するなどして、新たに取り組む団体の開拓に努めていく。	地域振興課	① 計画どおり
				目標値 (累計)	団体	-	-	-	1	3	5	6	7				
				実績値 (単年)	団体	-	1	1	3	0	1	2					
				実績値 (累計)	団体	-	-	-	3	3	4	6					
				達成率	%	-	-	-	300.0%	100.0%	80.0%	100.0%					

【重点施策】滞在型観光の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	63	観光入込客数(再掲)	県が発表する「鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺」の年間観光入込客数。	目標値(単年)	万人	-	-	-	300	302.5	305	307.5	310	① 順調	目標を上回る実績となった。引き続き、周遊・滞在型の観光を促進し、国内外からの観光誘客を図る。	観光・シオパーク推進課	① 計画どおり
				実績値(単年)	万人	-	295	170	187	243	311	335					
				達成率	%	-	-	-	62.3%	80.3%	102.0%	108.9%					
KPI	64	外国人宿泊者数	市内の主要宿泊施設の年間外国人宿泊者数。	目標値(単年)	人	-	-	-	33,800	34,100	34,400	34,700	35,000	② 概ね順調	インバウンド需要の拡大について、令和6年度は海外プロモーションや観光2次交通の強化、地域連携DMOによるツアーオペレーション機能の構築等に取り組み、市内の主要宿泊施設の外国人宿泊者数も増加傾向にある。 今後さらなるインバウンド需要の拡大を見据え、情報発信や受入体制の強化を図っていく。	観光・シオパーク推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値(単年)	人	-	33,041	2,766	1,118	5,318	28,116	31,838					
				達成率	%	-	-	-	3.3%	15.6%	81.7%	91.8%					

【重点施策】シティセールスの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	65	シティセールス取組評価値	当該年度実施の鳥取市広報モニターアンケート調査で「評価できる」「やや評価できる」と回答した市モニターの割合。	目標値(単年)	%	-	-	-	-	-	-	59.8	61.3	① 順調	令和6年度は目標値を達成することが出来た。SQアクションプランの策定・進捗管理やSQのあるまち職員研修をとおし、職員の更なる資質向上を図るとともに、これまで取り組んできた各種手法・情報発信をいかし、本市の魅力の向上・浸透につながるよう、引き続きシティセールスの視点を踏まえた施策の推進を図る。 ※評価指標を鳥取市LINEアンケートで実施していたシティセールス取組評価に係るアンケート調査の回答率が低かったため、令和6年度からより回答率の高い鳥取市広報モニターアンケートに見直している。	政策企画課	① 計画どおり
				実績値(単年)	%	-	-	-	-	-	58.3	70.4					
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	117.7%					
KPI	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	当該年度末の市が管理する主なSNSのフォロワー数。	目標値(単年)	人	-	-	-	20,000	36,000	45,000	60,000	65,000	① 順調	本市が管理する主なSNSのフォロワー数は、毎年順調に増加している。公式LINEについては、令和5年度に引き続き、配信機能の充実(ごみの収集日配信、セグメント配信等)を図るとともに、キャンペーン等の実施や登録を促すことを目的としたイベント参加により登録者数の増加に取り組んでおり、本市が管理しているSNSでも特に多くの登録者数を集め、市政情報の情報発信・情報提供に大きく寄与しているものと考えている。 今後も発信する情報内容やタイミング等に適したSNSを活用し、効果的な情報発信に努める。	秘書課広報室	① 計画どおり
				実績値(単年)	人	-	-	20,655	25,060	40,923	55,033	63,203					
				達成率	%	-	-	-	125.3%	113.7%	122.3%	105.3%					

【重点施策】文化芸術によるまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	市内文化活動団体連合組織の当該年度6月末の加盟団体数。	目標値 (単年)	団体	-	-	-	203	203	203	203	203	② 概ね順調	活動者の高齢化により団体数が減少していることを踏まえ、文化芸術活動の持続発展に向けて、新たな活動者の参入・発掘・育成を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、補助制度による活動支援、次世代を対象とした芸術鑑賞教室・体験講座開催による人材育成、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	団体	-	-	203	199	194	191	189					
				達成率	%	-	-	-	98.0%	95.6%	94.1%	93.1%					
KPI	68	文化芸術鑑賞者数	鳥取市補助事業等による当該年度の観覧者数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	23,000	30,000	44,000	58,000	72,000	② 概ね順調	文化芸術活動が新型コロナウイルス感染症の影響前の水準に戻りつつある中、さらなる鑑賞者数の増加に向けて、市民の文化芸術に対する関心喚起や意識高揚を図る必要がある。 引き続き、文化団体や芸術家などと連携しつつ、インターネットを通じた情報発信・普及啓発、文化施設の機能維持による活動・鑑賞環境整備などに取り組むことにより、文化芸術によるまちづくりの推進を図る。	文化交流課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	61,280	22,930	23,969	47,995	56,780	53,882					
				達成率	%	-	-	-	104.2%	160.0%	129.0%	92.9%					

【重点施策】自治体間連携の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	麒麟のまち圏域構成市町の年間観光入込客数。	目標値 (単年)	万人	-	-	-	707	720	733	746	759	② 概ね順調	麒麟のまち圏域構成市町の年間観光入込客数は、概ね順調である。 今後は大阪関西万博等の観光PRをはじめとした誘客促進等を関係6町と連携して行い、地域連携DMO「麒麟のまち観光局」の活動を支援しながら魅力ある観光地づくりを進める。	観光・シオパーク推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	万人	-	680.9	438.2	480.0	552	628	661					
				達成率	%	-	-	-	67.9%	76.7%	85.7%	88.6%					
KPI	70	麒麟のまち圏域への移住者数	麒麟のまち圏域構成市町のR3～7年度の移住者数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	718	718	718	718	718	① 順調	圏域の移住者数は、昨年度より増加し、目標値を上回ることができた。直接的に移住者増に資する取組として、東京・大阪での全国規模の対面による移住相談会への出展や移住セミナーを実施した。来年度も圏域市町で連携して移住促進に取り組んで行く。	地域振興課	① 計画どおり
				目標値 (累計)	人	-	-	-	718	1,436	2,154	2,872	3,590				
				実績値 (単年)	人	-	673	699	780	723	701	782					
				実績値 (累計)	人	-	-	-	780	1,503	2,204	3,035					
				達成率	%	-	-	-	108.6%	104.7%	102.3%	105.7%					

【基本目標Ⅲ－２】快適で暮らしやすい魅力と活力あるまちづくり

21

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	71	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	56.0	-	② 概ね順調	令和6年度の実績値は、目標値・元年度実績値を下回る結果となった。未整備区間のある高規格道路や、通勤時等の渋滞発生の解消が見られない幹線道路など、様々な要因により満足度が向上しなかったと推察される。 満足度を向上するため、市民からの要望内容を精査したうえ、安全・迅速に移動できる幹線道路整備の推進のため、関係機関に対する要望活動、県道整備の費用負担、幹線市道の整備等に引き続き取り組んでいく。	都市企画課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	53.2	-	-	-	-	45.1	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	80.5%	-				
数値目標	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	中心市街地の居住人口の社会増減数（転入者数－転出者数）の5年間（R3～7年度）の平均値。	目標値 (単年)	人	-	-	-	1以上	1以上	1以上	1以上	1以上	⑤ 未達成	令和6年度単年度では、昨年度の2倍近い社会減となった。内訳を見ると、中心市街地区域内から区域外への市内転居に伴う社会減が-92人と最も多く、これまでの社会減の主な要因であった県外への転出超過数を上回っている。 令和7年度は、空家特措法に基づく固定資産税の納税者情報を活用した所有者等の把握や利活用の働きかけにより、活用可能な既存ストックの確保を図っていく。また、令和6年6月に子育て世代に適した立地に移転した街なか居住体験施設について、PR動画を作成するなど情報発信に取り組むことで、居住人口の増加に繋げていく。	まちなか未来創造課	④ 目標を大きく下回る
				実績値 (単年)	人	-	60	50	68	-63	-62	-117	-				
				実績値 (平均)					68	2.5	-19	-43.5					
				達成率	-	-	-	-	達成	達成	未達成	未達成					
数値目標	73	小さな拠点の形成箇所数	地域住民自らが将来にわたり安心して暮らし続けることができる地域づくりに主体的に取り組む「小さな拠点」の当該年度末の形成箇所数。	目標値 (単年)	箇所	-	-	-	2	2	3	3	4	① 順調	本事業の周知をさらに進めていくことが必要である。そのうえで、地域の実情を把握し、地域の実情に合った必要な事業を取り込み、住民が主体となった「小さな拠点」形成に向けて引き続き支援を行っていく。	地域振興課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	箇所	-	1	1	3	4	4	4					
				達成率	%	-	-	-	150.0%	200.0%	133.3%	133.3%					
数値目標	74	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	30.0	-	③ やや遅延	令和6年度に実施された鳥取市民アンケート調査により実績値を把握した。 人口減少や自家用車への依存によって公共交通利用者が減少しており、公共交通事業者においても乗務員の人材不足や高齢化によって減便等が続くなど公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。今後も市民が安心して暮らせるようキャッシュレス化の推進や異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組など市民が利用しやすく満足度の高い公共交通を目指す。	交通政策課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	%	-	22.2	-	-	-	-	20.4	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	68.0%	-				
数値目標	75	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	当該年度実施の市民アンケート調査において、「満足」または「やや満足」と回答した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	② 概ね順調	令和3年度より、超高速インターネット接続環境が未提供の地域に対して、CATVによる光ファイバー網を整備したことなどにより、令和元年度の実績は上回ったものの目標値を下回った。 今後は、CATV既加入者宅に対する光ファイバーケーブルへの切替修繕や公共施設等における公共Wi-Fiの整備など、情報通信環境の充実を図る。	デジタル戦略課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	39.5	-	-	-	-	42.6	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	85.2%	-				

【重点施策】生活基盤の充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	76	高速道路整備に係る要望活動数	高速道路整備推進期成会による国・国会議員への当該年度の要望活動数。	目標値 (単年)	回	-	-	-	4	4	4	4	4	① 順調	国・国会議員への要望活動は毎年度実施しており、停滞することなく事業の推進が図られている。 引き続き、要望活動・啓発活動を積極的に行っていく。	都市企画課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	回	4	4	4	4	4	4	4	4				
				達成率	%	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
KPI	77	協働による芝生化の箇所数	公園・公共空地を芝生化した当該年度の箇所数。	目標値 (単年)	箇所	-	-	-	61	65	69	73	77	② 概ね順調	地域からの申請による公園・公共空地での協働による芝生化は、概ね完了している状況のため、近年、実施箇所数が減少している。 引き続き、(公財)鳥取市公園・スポーツ施設協会と連携を図りながら、芝生化の魅力を発信し、芝生化の促進を図っていく。	河川公園課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	箇所	-	59	59	59	60	61	61					
				達成率	%	-	-	-	96.7%	92.3%	88.4%	83.6%					

【重点施策】中心市街地の活性化

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	② 概ね順調	令和6年度の歩行者・自転車通行量は、平日と休日で異なる傾向となっている。平日については、鳥取駅北口やパレット鳥取付近、末広通りで通行量の増加があり、減少した地点もあったものの、全体では増加となった。 旧本庁舎跡地の広場整備や鳥取城跡の復元整備等のハード整備事業の進捗をいかしたソフト事業の展開や、リノベーションまちづくりの推進によるエリア価値の向上により、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	19,113	15,707	16,489	15,370	17,297	18,450					
				達成率	%	-	-	-	82.0%	75.7%	84.4%	89.1%					
KPI	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量(休日)	当該年度の調査時点における中心市街地の主要10地点の歩行者・自転車通行量の合計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	20,100	20,300	20,500	20,700	20,900	③ やや遅延	令和6年度の歩行者・自転車通行量は、平日と休日では異なる傾向となっている。休日については、多くの地点で通行量が減少した。天候や気温などの外的要因の影響も考えられるが、より一層の施策の展開が必要である。 旧本庁舎跡地の広場整備や鳥取城跡の復元整備等のハード整備事業の進捗をいかしたソフト事業の展開や、リノベーションまちづくりの推進によるエリア価値の向上により、通行量の増加を図っていきたい。	まちなか未来創造課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	人	-	21,900	18,900	16,453	14,725	16,628	15,578					
				達成率	%	-	-	-	81.9%	72.5%	81.1%	75.3%					

【重点施策】魅力ある中山間地域の振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	R3～7年度の輝く中山間地域創出事業（ソフト事業）の取組件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	6	7	8	9	10	② 概ね順調	概ね順調であり、前年度と比較して徐々に地域団体の取組が増えている。 今後、より効果的な事業展開を図るとともに、地域づくり活動の定着と継続発展を図る。	地域振興課	② ほぼ計画どおり
				目標値 (累計)	件	-	-	-	6	13	21	30	40				
				実績値 (単年)	件	-	7	4	4	7	6	7	7				
				実績値 (累計)	件	-	-	-	4	11	17	24					
				達成率	%	-	-	-	66.7%	84.6%	81.0%	80.0%					
KPI	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	R3～7年度の伝統工芸等後継者育成支援事業の活用実績数の累計。	目標値 (単年)	人	-	-	-	3	3	3	3	3以上	④ 遅延	伝統工芸の技術者が高齢化等により減少しつつあり、ふるさと産業の衰退が懸念される中、従来のように家族や地域からの後継者が望めない状況となっており、広く県内外からやる気のある研修生を募集する取組が必要である。 令和6年度に全国公募を実施し、1名の研修生を迎え入れたが、体調不良により、研修が中断となった。今年度も全国公募を実施し、伝統工芸品を次世代に受け継ぐ人材を育成できるようサポートしていく。	経済・雇用戦略課	④ 目標を大きく下回る
				目標値 (累計)	人	-	-	-	3	6	9	12	15以上				
				実績値 (単年)	人	-	3	2	2	1	0	1					
				実績値 (累計)	人	-	-	-	2	3	3	4					
				達成率	%	-	-	-	66.7%	50.0%	33.3%	33.3%					
KPI	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	「とっとりふるさとリーダーアカデミー」で養成されたリーダーの当該年度末の人数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	280	320	330	389	409以上	② 概ね順調	令和6年度とっとりふるさとリーダーアカデミーで、15名のリーダー認定者が生まれ、ゼミ生同士の交流を図ることができた。 今後は、新テーマとして個人や団体組織・グループの活動を横断的に結びつける横串連携ゼミを設置し、実践と連携の取組を増やしていく予定としている。	地域振興課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	275	292	316	343	369	384					
				達成率	%	-	-	-	112.9%	107.2%	111.8%	98.7%					

【重点施策】交通ネットワークの充実

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	83	共助交通の導入件数	公共交通空白地等に導入されている当該年度の共助交通の件数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	5	7	8	8	8	② 概ね 順調	路線バスの減便・廃止が続く中で、共助交通の重要性が高まっている。共助交通を必要とする地域が安心して導入・運行継続できるよう支援を行う。また、運行団体が抱える不安や意見を市政に反映し、支援策の充実を図っていく。	交通政策課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	件	-	3	3	5	7	7	7					
				達成率	%	-	-	-	100%	100%	87.5%	87.5%					
KPI	84	鉄道利用者数の減少抑制	当該年度の鉄道利用者数。市内各駅乗車人員数の減少を抑制する(年1.5%以内)。	目標値 (単年)	万人	-	-	-	378	373	367	361	355	② 概ね 順調	人口減少やモータリゼーションの進展等の影響で公共交通事業の縮小が進んでいる。鉄道の減便や廃止は、住民生活や地域経済に大きな影響を及ぼすことから、引き続き沿線自治体や関係機関等と連携し、鉄道の維持・充実に向けた利用促進に取り組む。	交通政策課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	万人	384	373	294	291	295	308	306					
				達成率	%	-	-	-	77.0%	79.1%	83.9%	84.8%					
KPI	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	鳥取砂丘コナン空港「鳥取ー東京便」の当該年度の有償搭乗者数。	目標値 (単年)	万人	-	-	-	38.8	39.6	40.4	41.3	42.0	② 概ね 順調	新型コロナウイルス感染症の収束やインバウンドの回復等による旅行需要の高まりに加え、地道な利用促進活動の展開が功を奏し、空港利用者は回復傾向にある。 今後さらなる利用者の増加を目指し、関係機関と連携して利用促進に取り組む。	交通政策課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	万人	38.0	38.8	9.2	13.3	28.5	37.4	40.2					
				達成率	%	-	-	-	34.3%	72.0%	92.6%	97.3%					

【重点施策】地域情報化の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	86	超高速インターネットサービス世帯充足率	当該年度末の通信速度が1 Gbps以上のインターネット接続サービスの利用可能世帯の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	91.0	100.0	100.0	100.0	100.0	① 順調	超高速インターネット接続環境が未提供だった地域においては、光ファイバー網の整備を実施、令和4年度からサービス提供を開始しており、他事業者による整備エリアにおいても、CATV施設の老朽化及び高速化に対応するためのFTTH化を実施し、市民サービスの充足を図った。 今後は、CATV既加入者宅に対する光ファイバーケーブルへの切替修繕及び既存HFC設備の撤去を実施し、超高速情報通信網への完全移行を目指す。	デジタル戦略課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	91.0	91.0	100.0	100.0	100.0	100.0					
				達成率	%	-	-	-	109.9%	100.0%	100.0%	100.0%					
KPI	87	公共Wi-Fiの拠点数	当該年度末の公共Wi-Fiが利用できる拠点(公共施設、避難所)の数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	72	77	82	91	100	② 概ね 順調	令和6年度は、市有施設における指定避難所を優先的に公共Wi-Fiの整備を行った(2拠点)が、整備済の一部施設の廃止により、設置拠点は1拠点の増となった。 今後は、公共Wi-Fiの優先的な整備が求められる指定避難所への整備を進めるとともに、鳥取県が設置した県営公衆Wi-Fi「TOTTORI Free Wi-Fi」の利用を検討するなど、公共Wi-Fiの充足を図る。	デジタル戦略課	② ほぼ計画 どおり
				実績値 (単年)	件	-	72	71	71	75	87	88					
				達成率	%	-	-	-	98.6%	97.4%	106.1%	96.7%					
KPI	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	当該年度におけるとっとり電子申請サービスの利用件数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	-	-	17,100	38,000	46,000	① 順調	令和6年度は、保育所の入所申込などの保育所関連の手続きに電子申請を導入したことにより、令和5年度のうちコロナ関連の手続きを除いた件数(31,584件)から大幅に増加した。 今後も、電子申請が可能な業務の掘り起こしや、QRコードの掲載や見やすいレイアウトの検討など、より利用しやすい環境を構築し、利用者の増加を図る。	デジタル戦略課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	件	688	2,385	9,925	16,335	53,051	37,700	51,483					
				達成率	%	-	-	-	-	-	220.5%	135.5%					

【基本目標Ⅲ－３】健康寿命を延伸し、活力ある健康長寿のまちづくり

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	89	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（女性）	当該年度の日常生活動作が自立している（要介護度2未満）期間の平均。	目標値 (単年)	年	-	-	-	20.86	20.91	20.96	21.01	21.06	① 順調	令和6年度、平均余命は微減、健康寿命は微増しておりほぼ横ばいの推移となった。引き続き、効果的な介護予防・健康の維持増進事業への参加促進などに取り組むとともに、ご本人が日常生活の中で取組みが自発的・継続的に行われるよう実施体制を拡充していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和6年度実績は令和4年度の数値を報告。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	年	-	20.76	21.07	21.03	21.74	21.33	21.38					
				達成率	%	-	-	-	100.8%	104.0%	101.8%	101.8%					
数値目標	90	健康寿命（65歳以上の平均自立期間）（男性）	当該年度の日常生活動作が自立している（要介護度2未満）期間の平均。	目標値 (単年)	年	-	-	-	17.71	17.79	17.87	17.95	18.03	① 順調	令和6年度、平均余命は微減、健康寿命は微増しておりほぼ横ばいの推移となった。引き続き、効果的な介護予防・健康の維持増進事業への参加促進などに取り組むとともに、ご本人が日常生活の中で取組みが自発的・継続的に行われるよう実施体制を拡充していく。 ※計画策定時数値は平成29年度のもので、令和6年度実績は令和4年度の数値を報告。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	年	-	17.55	17.63	17.57	18.06	18.10	17.96					
				達成率	%	-	-	-	99.2%	101.5%	101.3%	100.1%					

【重点施策】スポーツ・レクリエーションの振興

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	91	市民体育祭の延べ参加地区数	当該年度の市民体育祭に参加した延べ地区数。	目標値 (単年)	地区	-	-	-	460	470	480	490	500	③ やや遅延	少子高齢化で、各競技の参加者集めが難しくなったことに加え、コロナ禍を経て、地域のつながりの希薄化が進み、コロナ以前より参加地区数が減少しているものと考えられる。そのような現状を鑑み、市民ニーズに呼応した競技を開催するなど、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに、スポーツを通じた地域活性化を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	地区	-	452	大会中止	141	244	350	343					
				達成率	%	-	-	-	30.7%	51.9%	72.9%	70.0%					
KPI	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	功績を残したアスリートを招いた出前授業（小学校5年生、中学校2年生対象）の当該年度の実施校数。	目標値 (単年)	校	-	-	-	16	16	18	18	20	③ やや遅延	新型コロナウイルスの影響によりオンライン実施となっていたが、令和5年度に対面方式に戻り、令和6年度の実施校数は14校となった。より多くの学校で実施できるよう調整に努め、バランスよく開催し、学校で学ぶことができない貴重な体験をすることで、夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を学ぶ機会を創出することとする。	生涯学習・スポーツ課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	校	-	14	10	12	11	13	14					
				達成率	%	-	-	-	75.0%	68.8%	72.2%	77.8%					
KPI	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	学校施設開放による小中学校体育館等の当該年度の延べ一般利用者数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	350,000	350,000	350,000	700,000	700,000	① 順調	スマート予約システムへの団体登録が増加し、学校施設利用者は増加している。長時間の予約、定期予約数の制限を行うなど、より多くの団体に利用いただきスポーツの振興を図っていく。	生涯学習・スポーツ課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	344,804	279,704	442,432	438,624	667,472	830,669					
				達成率	%	-	-	-	126.4%	125.3%	190.7%	118.7%					

【重点施策】健康づくり・疾病予防・介護予防の推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	保健師・栄養士等の専門職が地域で実施する健康づくり等の知識の普及啓発活動への当該年度の延べ参加者数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	9,480	9,485	9,490	9,495	9,500	① 順調	コロナ禍には達成率50%以下に低下したが、地域でのイベントや集いの場等が再開され、健康教育・相談が活発になってきている。産官学民連携事業も徐々に増加しており、今後も引き続き日頃からの生活習慣病予防や健康づくりの意識を醸成し、健康無関心層を含め、若いうちから健康づくりに取り組めるよう働きかけていく必要がある。	健康づくり推進課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	9,205	4,982	4,686	7,497	9,264	11,242					
				達成率	%	-	-	-	49.4%	79.0%	97.6%	118.4%					
KPI	95	特定健診の受診率	当該年度の鳥取市国保加入者（40～74歳）の特定健診受診率。	目標値 (単年)	%	-	-	-	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	③ やや遅延	近年、特定健診受診率、特定保健指導実施率ともに横ばいの状況にあるため、医療機関等と連携を図りながら啓発活動を行うとともに、受診率の低い40～50代の人を重点的に訪問し丁寧な受診勧奨を行う。	健康づくり推進課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	%	-	33.5	32.4	32.9	33.9	34.2	36.6					
				達成率	%	-	-	-	65.8%	61.6%	57.0%	61.0%					
KPI	96	がん検診の受診率	当該年度各がん検診受診率の平均値（目標値50%は国の69歳以下受診率の目標）。	目標値 (単年)	%	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0以上	② 概ね順調	がん検診の受診率が伸び悩んでいる状況にあるため、企業等と連携した啓発活動や効果的な個別勧奨通知による啓発を行う。また、新たに託児付き健診を実施し、子連れの人にも受診しやすい環境を整える。	健康づくり推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	45.6	41.3	40.8	47.9	45.8	44.3					
				達成率	%	-	-	-	81.6%	95.8%	91.6%	88.6%					
KPI	97	介護事業所や地域の集いの場へのリハビリ専門職の派遣	当該年度の介護事業所等職員への助言及び地域住民への介護予防啓発のためリハビリ専門職員を派遣した回数。	目標値 (単年)	回	-	-	-	160	162	166	180	185	① 順調	地域の高齢者福祉に関わる専門職の資質向上のため、より多くの地域のリハビリテーション等専門職の知見が活用できる機会を増やしていく必要がある。 高齢者福祉に関わる専門職の資質向上のため、当事業の周知と利用を促進していく。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	回	-	155	168	273	231	207	240					
				達成率	%	-	-	-	170.6%	142.6%	124.7%	133.3%					
KPI	98	集いの場の箇所数	高齢者が地域の身近な場所での介護予防活動に参加できる「集いの場」の当該年度末の箇所数。	目標値 (単年)	ヶ所	-	-	-	439	474	509	544	578	③ やや遅延	ふれあい・いきいきサロン事業は近年減少傾向だったが、令和6年度に微増した。例年通り、担い手不足や高齢化に伴うサロンの解散はあったが、それ以上にサロンの立ち上げ数が増加したと考えられる。 通いの場は増えてきているが、周知不足や移動手段がない等の課題も抱えている。そのため、関係機関等にも通いの場の共有を行い、必要な人への情報提供を行っていく。	長寿社会課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	ヶ所	-	404	392	389	385	379	392					
				達成率	%	-	-	-	88.6%	81.2%	74.5%	72.1%					
KPI	99	シルバー人材センター登録会員数	当該年度末の公益財団法人鳥取市シルバー人材センターの登録会員数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	700	721	742	763	784	② 概ね順調	定年延長などにより社会の労働力構成が変化する中、シルバー人材センターにおける会員の確保は、これまで以上に困難になりつつある。こうした中でも、鳥取市シルバー人材センターは、昨年を上回る会員を確保している。本市としても、市報への掲載をはじめ、PRIに取り組んでいく。	経済・雇用戦略課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	742	699	703	717	734	737					
				達成率	%	-	-	-	100.4%	99.4%	98.9%	96.6%					

【基本目標Ⅲ－４】誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくり

27

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
数値目標	100	地域活動に参加したことがある市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	75.0	-	② 概ね順調	「過去1年間に地域活動に参加したことがある」と回答した市民の割合は、目標値に対する達成率としては「概ね順調」となっているが、令和元年度と比較すると7.3%のマイナスとなり、地域コミュニティの希薄化が進行している。 安全・安心に住み続けられる地域社会の創造のためには、地域での日常的な関係性の構築は最も重要であり、引き続き、地域の実情や特性に合った地域活動や地域共生の推進に向け、啓発活動等に取り組んでいく。	協働推進課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	71.5	-	-	-	-	64.2	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	85.6%	-				
数値目標	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	当該年度実施の市民アンケート調査において、「過去1年に福祉ボランティア活動に参加した」と回答した市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	8.0	-	④ 遅延	福祉ボランティア活動へ参加した市民の割合は、減少傾向に推移している。減少傾向の具体的な要因を特定できないが、コロナ禍で活動を制限された時期の流れから活動が縮小され、活動への参加する機会の減少、地域や福祉関係団体とのつながりの希薄化とともに、活動への関心の低下などが推測される。 この結果も踏まえ、地域を取り巻く福祉課題を認識し、今後も地域共生社会の実現に向けて、地域福祉を推進する施策を継続して実施していく。	地域福祉課	④ 目標を大きく下回る
				実績値 (単年)	%	-	7.2	-	-	-	-	4.1	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	51.3%	-				
数値目標	102	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	当該年度実施の市民アンケート調査において、住みやすさに関する満足度指数のうち高齢者福祉3項目の指数の平均値（最大5P）	目標値 (単年)	P	-	-	-	-	-	-	3.00	-	① 順調	住みやすさに関する満足度指数のうち高齢者福祉3項目（高齢者の住宅福祉サービス、老人福祉施設、老人保健施設などのサービス、高齢者の働き場所や生きがいづくりの場）の指数は目標を達成することができたが、引き続き、満足度向上に向けて取り組む。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	P	-	2.97	-	-	-	-	3.00	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	100.0%	-				
数値目標	103	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	当該年度実施の市民アンケート調査において、重要度が「高い」または「やや高い」と回答をした市民の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	-	-	-	50.0	-	② 概ね順調	留学生など外国人住民が、新型コロナウイルス感染症の影響前の水準に戻りつつあることを踏まえ、多様な人材の受け入れに向けて、外国人を含めたすべての住民にとって暮らしやすいまちづくりを実現する必要がある。 引き続き、関係団体や外国人支援団体などと連携しつつ、やさしい日本語・多言語による情報提供の充実や、各種講座・交流イベントの開催による相互理解の推進に取り組むことにより、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	42.9	-	-	-	-	42.0	-				
				達成率	%	-	-	-	-	-	-	84.0%	-				
数値目標	104	自主防災活動助成件数	自主防災会が実施する防災訓練への当該年度の活動助成件数。	目標値 (単年)	件	-	-	-	569	577	584	592	600	② 概ね順調	各町内自主防災会連絡協議会が防災訓練等を実施するために必要な経費及びこれらに類する経費を補助した。令和6年度は、令和5年台風第7号災害等を受け、地域の防災意識が高まり、地域住民による主体的な防災活動が促進され、地域防災力の向上を図ることができた。 全国的に災害が度重なる昨今、防災リーダー等を中心とした住民による主体的な避難所運営のための訓練支援など、地域の更なる防災力を強化していく。	危機管理課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	件	-	553	388	408	424	491	506					
				達成率	%	-	-	-	71.7%	73.5%	84.1%	85.5%					

【重点施策】協働のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	R3～7年度の地区公民館などにおいて大学生が企画・運営するまちづくり事業の実施件数の累計。	目標値 (単年)	件	-	-	-	4	4	4	5	5	① 順調	令和6年度は、4つの地区で若者の発想を取り入れたまちづくりに取り組んだ。毎年度の募集では、若者とつながり、若者の新たな発想をまちづくりに取り入れたい地区があることから、目標値を上回る進捗となっている。 引き続き、地域が若者と一緒になって取り組む地域課題の解決や地域の魅力創造・活性化に向けた事業を支援する。	協働推進課	① 計画どおり
				目標値 (累計)					4	8	12	17	22				
				実績値 (単年)	件	-	3	3	6	6	5	4					
				実績値 (累計)					6	12	17	21					
				達成率	%	-	-	-	150.0%	150.0%	141.7%	123.5%					
KPI	106	地域活動の支援	町内会が実施する地域活動への当該年度の支援（補助金交付）件数。	目標値 (単年)	町内会	-	-	-	250	250	350	450	510	③ やや遅延	新型コロナウイルス感染症の影響で低調だった交付件数は、令和5年度以降は増加傾向にあるが、目標値をやや下回った。その背景として、活動を再開した町内会もあるが、担い手の減少等により、活動の縮小・廃止を行う町内会もあることが考えられる。 変化する社会情勢を踏まえながら、継続して町内会が行う活動の下支援を行う。	協働推進課	③ 目標をやや下回る
				実績値 (単年)	町内会	-	501	153	152	168	298	358					
				達成率	%	-	-	-	60.8%	67.2%	85.1%	79.6%					

【重点施策】地域福祉のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	107	地域食堂の設置校区数	「地域食堂」が設置されている中学校区及び義務教育学校区の当該年度末の数。	目標値 (単年)	校区	-	-	-	11	13	15	16	17	① 順調	地域食堂の中学校区の充足率が前倒しで100%となったため、次の段階として小学校区の設置数の増加に向けて立ち上げや運営に係る支援を行うことにより、こどもを含む多様な人が交流する「地域の居場所」づくりを推進する。	人権推進課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	校区	-	9	11	11	14	16	17					
				達成率	%	-	-	-	100.0%	107.7%	106.7%	106.3%					
KPI	108	共生型サービスの実施事業者数	介護保険と障害福祉のサービスを同一事業所で提供を受けられる「共生型サービス」の当該年度末の実施事業者数。	目標値 (単年)	事業者	-	-	-	7	8	8	9	10	④ 遅延	共生型サービス実施事業者数は減少傾向である。要因としては、利用者減少による経営困難、人員確保が困難等による事業廃止が挙げられる。 引き続き、事業者の集団指導等を通じて事業の周知を図るとともに、アンケート調査結果をもとに共生型サービスの増加に向けた取り組みを検討する。	地域福祉課指導監査室	④ 目標を大きく下回る
				実績値 (単年)	事業者	-	7	7	6	6	5	5					
				達成率	%	-	-	-	85.7%	75.0%	62.5%	55.6%					

【重点施策】超高齢化社会に向けたまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価	内部評価	担当課	外部評価 (総合企画委員)
															評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	医療・介護事業者へのアンケート調査（当該年度の3月31日現在）において、医療・介護連携に関する達成度指数の平均値（最大5P）。	目標値 (単年)	P	-	-	-	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	② 概ね 順調	今後も、医療・介護従事者等に対する研修会や事例検討会等を実施することで、医療・介護の連携を支援し、多職種連携を推進していく。	長寿社会課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	P	-	3.0	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1					
				達成率	%	-	-	-	100.0%	96.8%	93.8%	96.9%					
KPI	110	地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口	該年度末の地域包括支援センター1ヶ所平均の高齢者人口。	目標値 (単年)	人	-	-	-	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	① 達成	65歳以上の高齢者人口の増加が見込まれており、地域包括支援センターの役割は重要である。今後の人口推計に基づいた適切な設置を行う。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	10,881	7,857	5,546	5,551	5,582	5,581					
				達成率	%	-	-	-	達成	達成	達成	達成					
KPI	111	認知症サポーター養成講座受講者数（延べ人数）	認知症サポーター養成講座の当該年度末の延べ受講者数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	20,323	21,323	22,323	23,221	24,119	② 概ね 順調	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症の人やその家族の応援者である認知症サポーターの養成を行った。 講座実施回数：20回（住民2回、企業・住民団体9回、学校8回、その他1回） 受講人数：470名	長寿社会課	② ほぼ計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	18,323	18,540	18,860	19,153	19,624	20,094					
				達成率	%	-	-	-	92.8%	89.8%	87.9%	86.5%					
KPI	112	地域の各種団体等関係者で話し合う場の設置数	地域の各種団体等関係者が話し合いを行う場の当該年度末の設置数。	目標値 (単年)	ヶ所	-	-	-	9	10	15	16	17	① 順調	地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）の配置により協議体を設置し、個別ケースや地域課題を中心に話し合いを行った。 現在設置されている話し合いの場から、地域主体で話し合いながら課題解決に向かうことができる第2層協議体につなげていきたい。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	ヶ所	-	7	3	5	14	11	17					
				達成率	%	-	-	-	55.6%	140.0%	73.3%	106.3%					
KPI	113	市民後見人候補者名簿登録人数	成年後見人等としての活動を希望し、市民後見人候補者名簿に登録した当該年度末の市民の人数。	目標値 (単年)	人	-	-	-	9	11	12	36	41	① 順調	市民後見人の人数が増加したことにより市民後見人のフォローアップ体制の見直しや家庭裁判所に推薦する人の方法の見直しなど関係機関と引き続き協議をおこなう。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	人	-	7	7	10	12	30	36					
				達成率	%	-	-	-	111.1%	109.1%	250.0%	100.0%					
KPI	114	介護保険施設職員の平均充足度	市アンケート調査（当該年度の3月31日現在）の市内の特養、老健、介護医療院及び地域密着型特養の職員の募集人数に対する採用人数の割合。	目標値 (単年)	%	-	-	-	83.7	85.3	86.8	88.4	90.0	① 順調	介護人材不足が全国的に課題となる中、本市でも介護人材不足が課題となっている。生産年齢人口が減少していく中にあり、介護人材不足解消は困難な課題となっている。 今後も介護事業者等の声を聞き、企業立地・支援課等と庁内連携を行い、外国人人材の活用などにより介護人材の確保に向け取り組んでいく。	長寿社会課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	%	-	80.6	80.2	81.2	67.9	86.0	94.2					
				達成率	%	-	-	-	97.0%	79.6%	99.1%	106.6%					

【重点施策】多文化共生のまちづくりの推進

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	地域や学校等で実施する国際理解講座への当該年度の交流員の派遣回数。	目標値 (単年)	回	-	-	-	80	80	90	90	90	④ 遅延	地域や学校等での取組が新型コロナウイルス感染症の影響前の水準に戻りつつあることを踏まえ、改めて国際交流員派遣事業の周知を図る必要がある。 令和6年度は一部の国際交流員の配置が年度途中となり派遣回数が減となったが、引き続き、小・中学校をはじめ、企業や団体など、幅広く事業の周知を行い、受講者数の増加につなげることで、多文化共生のまちづくりの推進を図る。	文化交流課	④ 目標を大きくを下回る
				実績値 (単年)	回	-	83	24	41	65	73	45					
				達成率	%	-	-	-	51.3%	81.3%	81.1%	50.0%					

【重点施策】地域防災力の向上

指標区分	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課	外部評価 (総合企画委員)
														評価	評価コメント (課題・今後の方向性等)		
KPI	116	防災リーダーの設置地区数	市内61地区自主防災会のうち防災リーダーが設置されている地区の当該年度末の数。	目標値 (単年)	地区	-	-	-	58	59	60	61	61	① 順調	防災リーダーの登録は、各地区への登録の呼びかけにより全地区に設置することができた。 今後も、新たな防災リーダーの確保に努めるとともに、防災リーダー登録者を対象としたフォローアップ研修を継続し、レベルアップを図る。	危機管理課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	地区	-	57	57	56	56	60	61					
				達成率	%	-	-	-	96.6%	94.9%	100.0%	100.0%					
KPI	117	浸水が想定される区域内の雨水排水施設整備面積	内水氾濫による浸水被害を軽減するための対策工事の整備面積。	目標値 (単年)	ha	-	-	-	2,151	2,167	2,169	2,171	2,174	① 順調	浸水被害発生区域の雨水排水施設整備は順調であり、指標実績値は目標を達成した。 今後は、雨水計画区域において対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定める雨水管理総合計画を策定し、効率的な浸水対策を推進する。	下水道企画課	① 計画どおり
				実績値 (単年)	ha	-	2,133	2,161	2,164	2,165	2,167	2,173					
				達成率	%	-	-	-	100.6%	99.9%	99.9%	100.1%					

4. 外部評価ご意見等への回答

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
1	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	減少傾向が続いている。その要因を分析し、効果的な施策を検討すべき。	<p>合計特殊出生率低下の社会経済要因として挙げているもののうち、特に婚姻件数についてはここ数年の減少幅が大きくなっています。また、若年層の転出超過についても、20代の社会減だけでなく30代の社会減も増加しつつあります。</p> <p>少子化への対応は長期的な視点で行うことが必要であり、結婚・出産・子育ての希望をかなえるための支援や、若者や女性のニーズに合った魅力的な職場づくりなど、若者や女性など多くの方々に選ばれるための施策を総合的に推進してまいります。</p>	企画推進部	地方創生推進室
2	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	<p>合計特殊出生率低下の社会経済要因はきちんと捉えられているけれど、それらが何故なのかももう少しつっこんで分析できればと思いました。</p> <p>今後出生率を上げることは、何をしても困難だと思います。急激に低下しないように努力していく方向へシフトチェンジしながら施策を考えたほうが良いと思います。</p>			
3	ひとづくり	2	「子育てを楽しい」と思う市民の割合	子育てを楽しいと感じている割合に中程度を含めてはダメではないでしょうか。	本市としては、子育てを「いつも楽しい」、「楽しいと感じるときの方が多い」という方が増えるよう、引き続き同様の評価指標で、施策の推進に努めてまいりたいと考えています。なお今回は、『以前に子育てをしていた方』も含めたアンケート結果の評価であり、今年度末策定予定の鳥取市地方創生アクションプラン（第3期鳥取市創生総合戦略）では、子育てがより身近な、現役で子育てをしている方を対象とした評価とすることを考えています。	健康こども部こども家庭局	こども未来課
4	ひとづくり	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	数値のサンプルが少なく判断が困難ですが、目標値から見れば④ではないでしょうか。特に指標1とは異なり、市の政策に対する市民の直接の評価であり、「子育てしやすい」との回答が半数に満たないことをもう少し重く受け止める必要があるように感じます。	本評価では、「以前子育てをしていた」方のアンケート結果も含まれており、全体として評価が少し下がったと判断しています。参考として、『就学前児童を子育てしている方』のうち、「子育てしやすい・しやすかった」と回答された方は、56.5%、『小学生以上を子育てしている方』では、54.2%でしたが、まだまだ不十分であると考えますので、国の事業展開なども注視しながら、「子育てしやすい鳥取市」と思っただけのよう、施策を推進してまいります。なお、今年度末策定予定の鳥取市地方創生アクションプラン（第3期鳥取市創生総合戦略）では、子育てがより身近な、現役で子育てをしている方を対象とした評価とすることを考えています。	健康こども部こども家庭局	こども未来課
5	ひとづくり	5	妊婦相談率	相談率99.9%は、鳥取市の妊婦がほぼ全員相談したのか。率ではなく件数の方がわかりやすいのでは？	相談率99.9%で、ほぼ全員に妊婦相談を行いました。受けられていない方は翌年度に妊婦相談を行いました。件数は年度により変動があるため、相談率の方が適切であると考えています。	健康こども部こども家庭局	こども家庭センター
6	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	訪問できない場合の電話も実績値に入れているのか？	訪問率には訪問のみの実績で電話等の実績は入っておりません。	健康こども部こども家庭局	こども家庭センター

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
7	ひとづ くり	9	ファミリー・サポ ート・センターの提供 会員及び両方会員数	ここ10年ほどで、ファミリーサポートセ ンターのニーズが変わってきているよう で、提供を受けたい子どもの年齢や内容が 変わってきていると聞いた。提供会員の普 及には、ファミリーサポートセンターの事 業内容をもっと周知していけば増える気が する。	令和7年度からチラシやポスターの構成を見直し、チラシは手に取 りやすいサイズに変更したり、これまでなかった利用者の声を掲載す るなど、より事業内容が分かりやすく身近に感じてもらえるよう工夫 しているところです。	健康こども 部こども家 庭局	幼児保育課
8	ひとづ くり	11	鳥取市男女共同参画 かがやき企業認定数	目標値の設定に根拠があるのか。前年実 績を見て目標値を設定しているように思え る。鳥取市に企業が何社あつての認定数な のか。	かがやき企業認定企業数の目標値の設定は、コロナ禍での企業訪問 を通じた認定申請の働きかけへの影響も考慮し、毎年2～3件の増加 を見込んで50件としていました。 令和5年度からは企業への啓発活動に加え、鳥取県の「男女共同参 画推進企業」認定事業者に対して申請書類の簡略化による申請時の事 務負担の軽減を図るなどした結果、認定企業数が増加したため、目標 値を変更しています。 事業所規模などの実態のほか、「女性の職業生活における活躍の推 進に関する法律」の期限延長をはじめとする法改正も踏まえながら、 ワークライフバランスや女性活躍の推進に向けた啓発に取り組み、認 定企業数の増加に努めていきます。	総務部人権 政策局	男女共同参 画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
9	ひとづくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）	小・中学生にこの質問をして「考えることがある」の回答率だけで基本目標が進捗しているのか？疑問がある。具体的に何をしているのか？アンケートだけで①評価なのか？ あくまで「ふるさとを愛する心豊かな人材を育むまちづくり」「ひとづくり」。	本市の小・中・義務教育学校では、総合的な学習の時間等に、郷土の歴史や文化、自然や産業に関して学んだり、自分たちの住んでいる地域社会にある課題の解決に向けて、探究的に学んだりしています。 また、地域で活躍する社会人の方の体験談を聞く学習や、職場体験学習などのキャリア教育を通じて、地域社会で活躍する方々の生き方や考え方に触れる機会もあります。 このような学習は、こどもたちの地域への理解や、地域の一員としての自覚の高まりにつながっていて、職場体験学習後のアンケートからは、「働くことは地域を守ることだと思いました。将来は地域を盛り上げる仕事について、鳥取を元気づけられるような人になりたい」という感想もありました。 引き続き、様々な学習を通じて、自己有用感の育成を図るとともに、地域を愛する気持ちを育んでいきたいと考えます。	教育委員会事務局	学校教育課
10	ひとづくり	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）				
11	ひとづくり	14	生涯学習講座の参加者の満足度	参加者の満足度が高いのは良い事だと思います。どの程度参加者がいたのか？	麒麟のまちアカデミー教養・技能コース、尚徳大学、ジュニアチャレンジコース、ファブラボととり合せ、延べ3,048名の方に参加いただきました。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
12	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（小学校）	郷土愛の醸成は？	本市の小・中・義務教育学校では、様々な体験活動や学習等を通して、ふるさと鳥取への郷土愛の醸成につながる教育を進めています。地域の中での職場体験や町探検の学習、中山間地域ふるさと体験事業のほか、郷土資料を活用した道徳の授業等、より地域のことを身をもって学ぶことができるよう取り組んでいます。 今後も、様々な体験活動や学習等を通して、郷土を大切に思い、夢や希望を育む教育を進め、「ふるさとを思い、志をもつ人づくり」に努めてまいります。	教育委員会事務局	学校教育課
13	ひとづくり	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（中学校）				
14	ひとづくり	17	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小学校）	不登校の進学先の心配や学校生活が送れていない子たちも多く、そこを取りこぼさないようにできればいいと思う。	本市では、児童生徒の状況や困り感などをしっかり把握し、適切に対応できるよう各学校で組織的に取り組んでいます。 また、学校のみならず、市が設置しているサポートルーム等への通所など、個に応じた学びの場も提供しているところです。 一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育を基盤とし、すべての児童生徒が安心して楽しく学校生活を送ったり、学びを深めたりすることができるよう引き続き取り組んでいきます。	教育委員会事務局	学校教育課
15	ひとづくり	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（中学校）				
16	ひとづくり	20	地区公民館への専門職員の配置割合	現在公民館勤務者に計画的に受講してもらえば良いのでは？	ご指摘のとおり、公民館所管課と協議の上、計画的受講について検討してまいります。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
17	しごと づくり	23	大学生県内就職率	<p>人出不足に加えて就職活動の早期化が著しく、このままでは今後も県内就職率減少に歯止めがかからない。</p> <p>内部評価コメントのような取組はもちろん、企業の早期の採用活動、情報発信にかかる費用を助成するなどの施策を検討するべきではないか。</p>	<p>現在、本市では「人材確保補助金」を設け、企業の人材確保にかかる情報サイトへの掲載費やPR動画作成、就職イベント参加、採用コンサル費用などを助成しています。また、従業員の奨学金返済制度を導入している企業への支援制度も行っています。今後も若者を市内企業へ呼び込むための支援を検討していきます。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課
18	しごと づくり	23	大学生県内就職率	<p>県内就職率向上の為に小学生、中学生時期からの就労体験、社会科見学等の機会増加への注力が必要と思います。</p>	<p>地元就職や将来的なUターン就職につながるよう「地元企業早期ブランディング事業」に取り組んでいます。この事業は、進路選択前の高校1・2年生を対象に、地元企業についての職場体験と探求学習を組み合わせ、地元企業の魅力的な事業展開や地元で働く意義について体験的に学んでいただいています。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課
					<p>本市では、地域や学校の状況に合わせた職場体験や企業訪問などを通して、各中学校が独自に工夫した「わくわくとっとり」事業を行っています。この事業は、ふるさと鳥取への関心を高めるキャリア教育の一環です。家庭や地域と協力しながら郷土で学ぶこうした活動は、本市が目指す「ふるさとを思い、志を持つ人づくり」につながるものと考えています。</p> <p>今後も、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材づくりを進めていきます。</p>	教育委員会 事務局	学校教育課
19	しごと づくり	26	市内農業産出額	原価高騰対策の検討の必要あり。	<p>原材料価格の高騰については、国の物価高騰対策臨時交付金等を活用し、特に影響を受ける畜産業を中心に支援を行ってきました。引き続き、国県と協調しながら必要な支援を検討してまいります。</p>	農林水産部	農政企画課
20	しごと づくり	29	補助事業（所得向上メニュー）指定企業における投下固定資産額の累計	<p>中心的な施策の一つであるが、活用のハードルが高いのではないか。</p>	<p>近年の労働力不足の現状を踏まえれば、省力化、生産性の向上、処遇改善は、これからの企業活動の持続・発展を図るうえで必要不可欠なものであると考えます。今後も企業関係者の方々との対話を通じて、制度の周知と制度の見直しも含めた検討を行うなど活用促進を図ってまいります。</p>	経済観光部	企業立地・支援課
21	しごと づくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	<p>採用・就職活動の早期化により、当然インターンシップや情報収集などのスケジュールも年々変化している。そうした環境に対応した施策も必要ではないか。</p>	<p>インターンシップにおいては鳥取市環日本海経済交流センターのコーディネーターと鳥取大学、環境大学の担当者間で情報共有、周知をしながら実施しているところですが、近年は留学生だけではなく、鳥取市を移住先の一つとして考えている外国人の転職活動の一つとして利用していただいている面もあります。今後はそういった層にも広く本インターンシップを知ってもらうためにふるさと鳥取県定住機構等とも協力しながら本事業を進めていきます。</p>	経済観光部	経済・雇用戦略課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
22	しごと づくり	31	留学生地域就労支援 事業でのインターン シップ参加者の市内 就職者数の累計	参加人数の低迷要因を真剣に分析する必 要あり。	鳥取大学、環境大学の留学生向けに主に広報活動をしています が、今後はより多くの人に知ってもらうため鳥取市内だけではなく、鳥取 市に興味関心を持ってもらうべく、鳥取県定住機構等と連携して、県 外に在住する留学生等にも広く広報を実施してまいります。	経済観光部	経済・雇用 戦略課
23	しごと づくり	32	市内企業への就職を 前提とした市内の日 本語学校入学者数の 累計	市内においても労働力不足は課題となっ ている。周知方法等の検討が必要。	日本語学校や関係団体等と連携し、周知を行っています が、市内企 業を訪問する際に紹介するなど、より効果的な周知方法を検討してま いります。	経済観光部	企業立地・ 支援課
24	しごと づくり	32	市内企業への就職を 前提とした市内の日 本語学校入学者数の 累計	外国人材採用企業の実態と、送出し母国 の現実を現地に於て把握すべきと考えます。	外国人材を活用している市内企業や、関係機関等と連携し、実態や 課題・成果を把握することで、外国人材の活用の促進に向けた施策づ くりを生かしてまいります。	経済観光部	企業立地・ 支援課
25	しごと づくり	33	まちづくり投融資制 度（投資・融資）の 活用実績額の累計	令和2年度まで実績値はあったのに、令 和3年度から0なのはなぜか。必要ない制度 は廃止の方向で。	事業の周知不足や支援の仕組みの煩雑さ、活用可能な物件の不足な どがあるのではないかと考えており、当面、商工団体や金融機関等と 連携しながら事業の浸透を図ることと併せて、制度のあり方について も検討を行ってまいります。	経済観光部	企業立地・ 支援課
26	しごと づくり	33	まちづくり投融資制 度（投資・融資）の 活用実績額の累計	そもそも制度が知られておらず、制度自 体の広報活動が必要ではないか。	商工団体や金融機関等と連携し、インターネットやパンフレット等 の媒体のほか、日頃の相談業務などを通じて周知を行っています が、より効果的な周知方法を検討してまいります。	経済観光部	企業立地・ 支援課
27	しごと づくり	34	第三者承継補助金交 付企業数の累計	必ずしも第三者承継にこだわらなくても 良いように感じる。	鳥取県における後継者不在が70%を超えている現状や、第三者承継 のメリットとして、事業拡大や新たな成長の契機となることが期待で きることを踏まえ、第三者承継の取組を推進しているものです。 引き続き、関係団体等と連携しながら、制度の周知に取り組んでま いります。	経済観光部	企業立地・ 支援課
28	しごと づくり	34	第三者承継補助金交 付企業数の累計	そもそも制度が知られておらず、制度自 体の広報活動が必要ではないか。	専門機関や金融機関等と連携し、インターネットやパンフレット等 の媒体のほか、日頃の相談業務などを通じて周知を行っています が、より効果的な周知方法を検討してまいります。	経済観光部	企業立地・ 支援課
29	しごと づくり	35	農商工連携マッチン グ支援事業者数の累 計	成功事例を知りたい。	首都圏、関西圏のバイヤーとの商談会やイベント開催などを通じて 32事業者に対してマッチング支援を行いました。本事業で地元素材を 使い商品開発をした「鳥取カレーキット」や「福蜂蜜（ふくはちみ つ）」などの商品を積極的にPRし、延べ22事業者の商品が新規成約 となりました。また、「福蜂蜜」は、鳥取県特産品コンクール食材部 門で最優秀賞を受賞するなど成果が表れています。	経済観光部	企業立地・ 支援課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
30	しごと づくり	38	鳥取市国際経済発展 協議会の地元企業海 外進出等に対する支 援の累計件数	制度自体の周知がなされているかを分析 した上で、広報活動を検討する必要がある のでは。	当協議会の事業について、ホームページや会員メルマガ等に加え、 各経済団体やJETRO等専門機関と連携して情報発信するなど、実際 に支援が必要な地元企業に情報が届く取組を進めてまいります。	経済観光部	経済・雇用 戦略課
31	しごと づくり	39	新規のオフィス設置 数（市関与分）の累 計	オフィスの内訳が知りたい。	新規のオフィス設置の内訳は、令和3年度が1件、令和4年度が1 件、令和5年度が7件、令和6年度が3件、累計12件です。事業内容 としては、製造業の設計事務、研究開発、営業拠点や情報通信業のシ ステム開発、宇宙関連事業の研究開発、旅行業の営業拠点です。	経済観光部	企業立地・ 支援課
32	しごと づくり	43	市内の新規農業担い 手数の累計	全国的に農業を見直す時代にあり、「近 代的なスマート農業」への支援をより具体 的に！（メーカーとのタイアップ等含め て）	ドローン等スマート農機導入の需要、スマート農業への機運は高ま り続けています。スマート農機導入のための補助金についても、県が 拡充を検討しています。スマート農業の周知等について今後努めてい きたいと考えます。	農林水産部	農政企画課
33	しごと づくり	46	市戦略作物の出荷量	高温障害の対策が必要。	近年の酷暑により作物が必要とする時期に給水ができず減収となっ たものです。今年度は昨年度の生産環境を踏まえレインガン（持ち運 び可能なスプリンクラー）の導入を斡旋するなど、かん水対策を支援 しました。また、ハウスの自動巻き上げ機や寒冷紗の導入による高温 対策について県やJAと連携して支援を行います。	農林水産部	農政企画課
34	しごと づくり	47	キジハタ漁獲量	施策の重要性が良くわからない。	年々、漁業者数や漁獲量が減少する中、松葉ガニや白いかなどのブ ランド化による高付加価値化と併せ、キジハタ、アワビなどの高級魚 種の栽培漁業を支援することで、漁業所得の向上と水産業の魅力を高 め、担い手確保と漁業振興を図るものです。	農林水産部	林務水産課
35	しごと づくり	48	担い手農家への農地 集積率	集積率の計算式がわからない。実績値 25.2%が妥当な水準なのかもよくわから ない。	集積率は、集積面積÷耕地面積で積算しています。今後さらなる担 い手への農地の集約や農地集積による大規模経営等が求められてお り、実現に向けて県やJAと連携していきます。	農林水産部	農政企画課
36	しごと づくり	52	多面的機能支払交付 金対象の農用地面積 の割合	目的は耕作放棄地の抑制なのか？事業の 性質がよくわからない。	本交付金は、活動組織が行う農業の多面的機能を発揮するための活 動（農用地の保全や農道の草刈、水路清掃等の基礎的な活動、共同に よる農村環境保全活動、農業施設の長寿命化対策活動等）を支援して おり、耕作放棄地の新規発生地の抑制につながっています。	農林水産部	農村整備課
37	しごと づくり	53	スマート農業支援件 数の累計	先進技術の導入・実証などの取組と農業 機械購入との関係がよくわからない。	本事業では、先進技術を「スマート農業技術」と想定しています。 支援対象はスマート農業技術を搭載した農業機械（例：自動操舵機能 付トラクター、食味・収量センサー付コンバインなど）であり、機械 導入後の4年間の稼働実績を毎年確認しています。	農林水産部	農政企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
38	まちづくり	54	移住定住者数	移住イベントに何度か参加させてもらったが、20代の参加が少ない印象だった。市内高校生や進学した学生と、市内のいろんな社会人との接点をつくることで、まずは鳥取で働く/暮らすイメージを持ってもらうことが第一歩だなと感じたので、その層への取組を強化していくことを期待。	令和7年度、企業雇用型の地域おこし協力隊を2名配置し、企業誘致・移住のプロモーションを地域密着型で行い、誘致対象となる県外企業に本市の魅力を伝え、企業の進出、移住者の増加に向けて取り組むこととしています。 この取組の中で、若者に鳥取市で働く・暮らすイメージを持っていただけるよう情報発信していきたいと考えています。	市民生活部	地域振興課
39	まちづくり	54	移住定住者数	移住者数の増加は確認できますが、その後の定着率や移住をやめた方などの把握はしていますか？移住後のフォローアップや定住支援の取組が、長期的な移住者の定着にどれだけ貢献しているか、評価していく必要があると思います。	移住後の定着率については、手法や費用、労務的な点から移動状況の追跡調査をしていないため、把握しておりませんが、移住後も専任の相談員による相談対応や各種情報の提供や定期的に移住者交流会や移住後の相談会を開催するなど、様々なつながる機会を設けており、定着に至らなかった方の理由等も移住相談の中で聞き取りをしているところです。 また、移住された方の暮らしぶりや子育ての様子、地域との関わりについては、本市の移住定住支援のポータルサイト「鳥取コネクト」の中で、移住者の方に直接紹介していただく動画で情報発信を行っているところであり、今後も移住支援と併せて移住後の定住支援についても力を入れてまいります	市民生活部	地域振興課
40	まちづくり	54	移住定住者数	移住者数が目標に達している点は、これまでの取組の成果だと思いました。一方で、移住後も地域に根付き、暮らし続けているかといった定着状況にも目を向けていくことが、今後さらに重要になってくると思われます。地域おこし協力隊と共に活動を進める中で、受け入れ側の課題も大きいと実感しています。生活の満足度や地域との関わりなど、質的な側面もあわせて把握していくことで、支援策のさらなる充実につながると思います。	本市では、平成28年に「鳥取市移住・交流情報ガーデン」を開設し、移住者交流会の開催や相談会など移住後の定住支援にも力を入れています。地域おこし協力隊員の生活の満足度や地域との関わりなどを把握し、今後の移住施策にいかしていきたいと考えます。	市民生活部	地域振興課
41	まちづくり	55	観光入込客数	観光資源の連携活用によって入込客数は回復基調にあり、施策の効果と思います。今後はリピーター獲得や滞在時間延長につながる取組にも民間も巻き込み注力すべきだと思います。	地域連携DMO（一社）麒麟のまち観光局では、広域観光圏域のリピーター獲得につながる会員サイト「このへん共和国」を管理・運営しており、令和7年9月末現在で会員数は18,683人となっています。会員に向けては、定期的な観光情報の発信や、各種キャンペーンの開催に合わせ、圏域内の参画店舗等で使用可能な割引電子クーポンの振出しを行い、周遊・滞在に伴う観光消費の拡大と顧客データの取得に取り組んでいるところです。同サイト内では、参画店舗独自で特典付与が可能となっていることから、民間事業者の創意工夫も取り入れ、引き続き、官民一体となった誘客促進に取り組んでいく考えです。	経済観光部	観光・シオパーク推進課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
42	まちづ くり	55	観光入込客数	このへん共和国、とりパス等いろいろなキャンペーンがあって、利用の仕方がよくわからなくなる。キャンペーンをまとめたサイトがあるといいのではと思ったりしました。	観光客を対象とする周遊や滞在を促進する様々なキャンペーンは、本市はもとより鳥取県などでも行われており、行楽シーズンなどを中心に複数が乱立する場合があります。ご意見の通り、キャンペーン情報をまとめて情報提供するサイトなどがあれば利便性も高くなるものと思われますので、「鳥取市観光サイト」を運営する鳥取市観光コンベンション協会とも連携し、情報提供のあり方を検討してまいりたいと思います。	経済観光部	観光・ジオ パーク推進 課
43	まちづ くり	55	観光入込客数	インバウンド需要に関し、台湾、欧米豪、東南アジアへのプロモーションには、さらに注力すべき。今後、経済の長期停滞や混乱が見込まれる中国や韓国からのインバウンド需要は激減する可能性も高く、政治・経済分野における損切りや撤退も進行しており、新たな投資には慎重な判断が必要。	ご指摘の通り、インバウンド需要は社会情勢の変化に伴い、減少する可能性もあることから、日本への来訪率の高い東アジア市場を中心に誘客するとともに、インバウンド需要の動向を把握したうえで、多角的な誘客を検討していく考えです。	経済観光部	観光・ジオ パーク推進 課
44	まちづ くり	57	地域魅力度	地域魅力度の低下について報告されていますが、具体的な取組や評価基準が不明です。この課が行った業務とその成果を明確にする必要があります。シティセールス視点での施策推進についても、具体的な施策と結果を示すべきです。	本市では、シティセールスの推進にあたり、全国的な本市の評価を参考とするため、株式会社ブランド総合研究所が実施する「地域ブランド調査」の「地域魅力度」を指標とし、目標値を高く設定して取組を進めております。 本市の魅力度向上のためには、職員個々の資質を高め、本市の行政施策・環境を一層向上させるとともに、市内外に本市の魅力を発信・浸透させることが重要であることから、ブランドスローガンに「SQのあるまち」を掲げ、職員一人ひとりが意識改革と資質向上に努め、鳥取市らしい質の高いサービス提供や高品質な施策の展開に取り組むこととしています。全職員が、シティセールスの意識を持ちながら日々の業務に取り組むよう、本課では職員行動指針＝クレドを定め、クレドが書かれたクレドカードを全職員に配布し携帯を促すことで職員の意識向上を図っています。 この意識のもと、各課では鳥取市の魅力度向上につながる取組を推進し、令和6年度は著名人とのタイアップを実施し幅広い世代へ、ロケ地である鳥取市、そして鳥取市でいきいきと暮らす鳥取市民＝「鳥取家族」のみなさんの暮らしを届けることにより本市の知名度向上につなげたところです。 引き続き、職員の意識向上に努めるとともにシティセールス関連事業の取組状況を分析し、本市の魅力の向上・浸透に努めてまいります。	企画推進部	政策企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
45	まちづくり	57	地域魅力度	本市出身者で東京等の在住者へも意見を聞く機会をつくられてはどうでしょうか。ふるさとへ貢献した方々は、多くおられると思います。	平成28年より実施しております「地方創生ストリートミーティング」は、地方創生のカギとなる次代を担う若者などと市長が直接対話し、その意見や要望を施策にしっかりと反映させることを目的とし、鳥取市在住の方だけではなく、県外で活躍されている本市出身の社会人や学生の方にも参加いただき、本市の魅力や将来像などについて意見交換を行っているところです。 本市出身の県外在住者の豊富な知見をまちづくりにいかすことは大切な視点と考えますので、引き続き、様々な機会を通じて本市へのご意見やニーズなどを把握し、まち一体となったシティセールスの推進に取り組み、「住む人」「来る人」に選ばれるまちを目指してまいります。	企画推進部	政策企画課
46	まちづくり	57	地域魅力度	先述の「豊かな自然との近さ」を強みとする地方都市は無数にあるが、鳥取には砂丘という一大フックがあるので、もっと具体的に活用していくべきだと思う。 例えば、誰の足跡もない（何らかの動物の足跡はある）風紋がきれいで朝日もきれいな時間帯に砂丘へのアクセスが悪い。砂丘でしっかり楽しんだあとに楽しめる温泉が市内にたくさんあるのに動線がなく皆生温泉に流れていく、みたいなもったいないことを一つずつ改善していき、キャッチーな砂丘を最大限に活かす→周辺施設へ→日々の暮らしのイメージに繋げたい。	本市では現在、県内初の24時間利用可能なシェアサイクルの実証事業に取り組みしており、鳥取駅や鳥取城跡、鳥取砂丘などに合計6か所のサイクルポートを設置して、利便性の高い観光二次交通として定着していくことを目指しています。 また、通過型観光から滞在型観光への転換をめざし、経済団体等とも連携する中、鳥取砂丘とまちなかを結ぶ観光導線を創り出す取組を検討しているところです。引き続き、鳥取砂丘を誘客促進の核とする観光振興や二次交通の確保に取り組みでいきたいと考えています。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
47	まちづくり	59	移住相談登録者数	鳥大生や環大生の4年生で県外へ出ていく学生にアプローチされてはどうか。	本市在住の大学生へのアプローチにつきましては、大学生・社会人の若者が地方創生に取り組む「とっとり若者地方創生会議」や、大学と専門学校の学生の麒麟のまち圏域への就職促進や魅力の理解促進を図る「鳥取市・麒麟のまち魅力発見事業支援事業」など様々な事業を展開し、在学中に本市とのつながりづくりに努めております。 ご意見を踏まえ、あらためて庁内関係課で連携し、しっかりと取り組んでまいります。	市民生活部	地域振興課
48	まちづくり	59	移住相談登録者数	登録者数増加のためには、ファーストコンタクトをどれだけ増やすかが重要だと思う。成人式などのまとまった人数が集まる機会積極的に広報を行う、移住パンフなどの置く場所を増やす、待ちではなく「鳥取への移住を考えてみようよ！」と働きかけられる協力人材を増やす。	東京や大阪等で開催される全国規模の移住相談イベントにも積極的に参加しています。移住定住を検討している方に地域情報の提供、自身の体験を踏まえた相談対応等を行う県のとっとり暮らしアドバイザー制度を活用し、移住相談対応を行ってまいります。 また、いただいた意見を参考に広報についても検討していきたいと思っています。	市民生活部	地域振興課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
49	まちづくり	59	移住相談登録者数	<p>移住相談登録者数の増加は一定の成果と 思います。そして目標未達の要因分析と、 より踏み込んだ施策の再構築が求められる 段階にあると感じます。</p> <p>情報発信や相談対応に加え、企業や地域 プレイヤーと連携した「働く場の創出」 「暮らしの伴走支援」「地域とのつながり を実感できる仕掛け」など、より実践的で 主体的な関わりを生み出す取組が、移住希 望者の決断や定着につながるように思いま す。</p>	<p>令和7年度、企業雇用型の地域おこし協力隊を2名配置し、企業誘 致・移住のプロモーションを地域密着型で行うこととしています。誘 致対象となる県外企業に本市の魅力を伝え、企業の進出、移住者の増 加に取り組んでまいります。</p>	市民生活部	地域振興課
50	まちづくり	60	中山間地域における 空き家登録件数の累 計	<p>空き家登録件数の目標達成は成果と思い ますが、現場では「住める空き家がほとん ど存在しない」という実態もある中で、単 に登録件数を積み上げることが目的化しな いよう、空き家対策そのものの在り方を見 直す時期に来ていると感じます。国府町で 地域おこし協力隊と共に空き家の利活用に 取り組んで1年経過しますが、当地ならではの 事情や地域住民の意識を知れたこと、併 せて住める住宅にするための費用が新築に も匹敵するという現実を知り、方針転換が 必要にも感じています。</p> <p>移住希望者のニーズに合った住まいの確 保に向けては、空き家バンクに依存しない 住宅確保策も含め、より柔軟な検討が求め られると思っています。</p>	<p>「鳥取市空き家情報バンク」の運営は、（公社）鳥取県宅地建物取 引業協会と連携して行うことで、安心してご利用いただいているところ です。中山間地域の空き家を移住者の住まいとするには、移住者の 受け入れに地域の理解と協力も必要不可欠と考えており、地域と移住 希望者のニーズにあった支援が行えるよう空き家の利活用に取り組む 地域団体と連携しながら、取組を進めています。</p> <p>移住相談では、住まいの希望に応じて、（公社）鳥取県宅地建物取 引業協会と連携し、地域団体の保有する空き家情報の提供や「鳥取市 空き家情報バンク」の情報に加えて一般の賃貸物件なども情報提供し ています。</p>	市民生活部	地域振興課
51	まちづくり	61	魅力ある民泊に向け た取組団体数	<p>事業実績がなかった背景には、単なる周 知不足以上の課題がある可能性も考えられ ます。民泊整備の実効性を高めるために は、地域の実情を踏まえた事業設計の見直 しや、他分野と連携した柔軟な展開が求め られるのではないのでしょうか。</p>	<p>本事業は、地域資源の活用や地域住民との交流を通して、魅力ある 滞在エリアの創造に取り組む宿泊事業者を支援するもので、県の補助 金を受けて実施しています。</p> <p>支援対象事業者を拡大するなど事業設計を見直すことは現在のところ 考えていませんが、事業者が取り組みやすくなるよう、他分野とも 連携しながら事業周知を図り中山間地域の活性化と地域内経済の循環 の推進に取り組んでまいります。</p>	市民生活部	地域振興課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
52	まちづくり	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	鳥取に関わりを持ってくれる人は多様。そこに関わる団体も、様々な属性を持った組織があるのが好ましい。（まちづくり、IT、スポーツ、高齢者、…。） 関係人口拡大という入り口からだとしても似たり寄ったりになるので、全くの他ジャンルの団体に、関係人口拡大に関わってもらう方向でも開拓していきたい。	本市ではプロレス等の地域イベントや特産品の開発、演劇を通じた都市部との交流など関係人口の創出を図ることにより地域活性化を目指す団体に対し支援を行っています。 この支援制度については、主に市公式ウェブサイトで事業周知を図っているところですが、今後は地域振興未来会議やリーダーアカデミー、グリーンツーリズム連絡協議会や中山間地域振興推進員を活用して、様々な属性の団体に事業周知を図ってまいります。	市民生活部	地域振興課
53	まちづくり	62	関係人口拡大に取り組む団体の数	取組事例を広く市民に紹介してほしい。	本市においては、学生をはじめとした様々な団体が、関係人口の創出・拡大に向けたイベントなどを定期的開催することにより、中山間地域の魅力を発信しているところです。市としても引き続き各種媒体や中山間地域振興推進員などを活用し、関係団体の取組事例等を情報発信してまいります。	市民生活部	地域振興課
54	まちづくり	64	外国人宿泊者数	駅前で商売をしていますが、海外のお客様が増えているのは実感できる。 わざわざ鳥取まで来ていただいたからには、しっかり楽しんでほしいし、対応する地元側としても、単発での売り上げだけでなく、海外からのゲストに鳥取を楽しんでもらった！という誇りに繋げていきたい。そのためのサポートツール（言語など）は多少は用意してもいいかもしれない。（個人的には、それくらいは自分たちでやろうというスタンスではあるけれど）	本市では、外国人向け観光案内所である「鳥取市国際観光客サポートセンター」をJR鳥取駅構内に設置しており、多言語（英語・中国語・韓国語）による観光案内のサポートを行っています。また、インバウンド需要の増加に対応する民間事業者の取組を支援するため「鳥取市観光産業育成支援事業補助金」を設け、ホームページの多言語化や各種案内物の多言語化、翻訳ツールの導入などを支援しているところです。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
55	まちづくり	64	外国人宿泊者数	今後は、滞在満足度や再訪意向といった質的な評価にも目を向けることで、「観光都市鳥取」の実現に向けた取組に繋がるのではと思います。	本市を含む1市6町で構成する（一社）麒麟のまち観光局では、令和7年度より市内の宿泊施設や観光案内所においてインバウンド旅行者向けのアンケート調査を試験的に行う予定です。こうした取組の成果も踏まえ、受入環境の向上など快適な周遊・滞在環境の実現をめざしていきたいと考えます。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
56	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	広報モニターからのアンケートという時点でバイアスがかかっている？	鳥取市広報モニターは本市の市政に関心が高い方であり、本市シティセールスの評価を行う対象としては適切であると考えております。しかしながら、シティセールスの取組評価について「評価できる・やや評価できる」という回答が約7割あった一方で、具体的な取組内容などについては「知らない」という回答も同程度の割合となっていることから、引き続き、市民のニーズや満足度を把握し、より効果的な情報発信など本市の魅力を市内外に発信・浸透させるための施策を推進してまいります。	企画推進部	政策企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
57	まちづくり	67	市内文化活動団体連 合組織への加入団体 数	ホームページに「市内の小学校3校に、 5、6年生を対象に1校につき3回の出前講 座を開催している」とありました。 市内全ての小中学校全学年を対象に、回 数も増やすべきではないかと思います。 (どのくらいの予算が必要かなどわからな いこともありますか)	芸術の出前講座事業は、市内の全ての小学校を対象に募集を行い、 希望する学校で実施しています。回数については、現在は各学校の希 望に沿い、1回目はオリエンテーションと講座(前半)、2回目は講 座(後半)、3回目は発表会の内容で約3週間で計3回の日程として います。また、講座については、油絵や書道、クラシックギター等も あることから、5、6年生を基本として実施しているところです。小学 校での実施や学年、回数については、授業への影響や学校の負担等を 考慮して行っているところであり、今後の内容の拡充については、学 校、文化芸術団体と研究したいと考えています。	企画推進部	文化交流課
58	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への 観光入込客数	管理番号312のNo.5の事業と、管理番号 315のNo.3の事業の違いがよくわかりませ んでした。	ご指摘の「広域観光開拓・推進事業費」は同一の事業です。重点施 策内容に関連するため両事業に掲載をさせていただいているもので す。	経済観光部	観光・ジオ パーク推進 課
59	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への 観光入込客数	入込客数は順調に回復していて、施策の 成果だと思っています。KPI(312)の取組と 合わせ、広域周遊施策の強化を期待しま す。	1市6町で形成する麒麟のまち圏域には、鳥取砂丘や氷ノ山など海 と山の資源が多岐にわたり、「食」の魅力も四季を通じて豊富である ことから、これら、各エリアの魅力を組み合わせてテーマに応じたモ デルルートの提案を行うなど、効果的な情報発信を行うことで、引き 続き、広域周遊施策の強化を図ってまいります。	経済観光部	観光・ジオ パーク推進 課
60	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への 移住者数	移住者数は置いておいて、そもそも「麒 麟のまち」という圏域を意識している人が まだまだ少ないと思う。圏域の存在/魅力の 発信を継続。 少し違う話になるかもしれないが、ス ポーツで市大会/県大会などあるが、麒麟の まち圏域でもある程度の規模の大会を継続 して開催するなど多方面での意識醸成が必 要そう。	市内で開催され、麒麟のまち圏域内から参加者を募るスポーツの大 会に要する経費の一部を補助し、麒麟のまち圏域内のスポーツの振興 を図ってきたところです。 また、本市も含め府県を超えた小学生同士の交流を図るため「山陰 海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会」を開催しているところであり、 引き続き、圏域内でのスポーツ振興を推進したいと考えます。	教育委員会 事務局	生涯学習・ スポーツ課
61	まちづくり	72	中心市街地の居住人 口(社会増減数)	居住+店舗で、若い人たちが住みながらお 店もできるような環境もあればいいと思い ます。	鳥取市リノベーションまちづくり構想においても、空き家・空き店 舗などの遊休不動産の利活用により、若者が起業などにチャレンジし やすい環境づくりや居住ニーズを満たすことを目指す方向性として掲 げているところです。 店舗兼住宅も含めた遊休不動産の利活用推進にあたっては、鳥取市 中心市街地活性化協議会と連携し、利活用希望者と不動産オーナーと のマッチングに取り組むとともに、改修に係る補助や事業化に関する 伴走支援などを行っています。	都市整備部	まちなか未 来創造課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
62	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	<p>マンションなどの新築に依存する人口政策は長期的には鳥取市のよき個性を損ねるリスクもあるので、多くある有休不動産の活用をすすめるまちづくり/人口政策をしっかりと推進していく必要がある。</p> <p>しかし、それが一部の人たちで盛り上がるだけでは無意味。中心市街地には町内会/商店会など古くからの繋がりが残っているので、キーパーソンを経由するなどし、今はあまり意識していない層にこそ遊休不動産の活用という選択肢を浸透させていきたい。</p>	<p>本市では、遊休不動産の利活用事例などを紹介する「空き家会議」や、遊休不動産のリノベーションに関する事業提案を公開で実施する「ワーケーションプログラム」に取り組んでおります。</p> <p>また、施策の推進においては、鳥取市中心市街地活性化協議会や民間まちづくり会社といった中間支援組織と連携し、町内会や商店街のキーパーソンの方々にもご協力いただきながら取り組んでいるところです。</p> <p>今後も引き続き、様々な機会を通じて周知を図りながら、遊休不動産利活用の取組の浸透に努めてまいります。</p>	都市整備部	まちなか未来創造課
63	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	<p>必要不可欠であり、過疎化先進地域として今後の日本のモデルケースにもなりうるが、地域ごとに目指す形はそれぞれで、なかなか決まったフォーマットはつくりづらくもあるので、住民主体で進めていけるように取り組んだのは意味があると思う。</p> <p>同時に、市としてもある程度継続して取り組めるプロフェッショナル人材を集めたチームをつくり、互いの事例を共有しながら地域にどっぷり入り込んで支援していくことも検討したい。</p>	<p>本市では、集落の課題把握や集落のあり方についての話し合いの促進を図ることを目的として中山間地域振興推進員を設置しています。</p> <p>今後は、地域おこし協力隊やリーダーアカデミーで育成された地域リーダー、県の東部中山間地域等サポートチームなどと連携しながら、より一層地域に密着した支援に取り組んでまいります。</p>	市民生活部	地域振興課
64	まちづくり	74	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	<p>地方の高齢者は、免許返納したくてもできない現実的な問題がある。とりモビなどの新たな公共交通を導入していくことで、少しでもカバーしていきたいが、どうしても補いきれない部分はある。</p> <p>事故リスクの少ないスローモビリティ導入や道路そのものの速度制限などをミックスした、これからの時代の交通ビジョンを改めて掲げるタイミングなのかもしれない。</p>	<p>公共交通を取り巻く環境が厳しさを増す中、生活交通の維持・確保をめざして、新たな公共交通の試験導入やキャッシュレス化の推進、異なる交通手段をシームレスにつなぐ取組などに取り組んでいます。</p> <p>市街地や中山間地など、地域によって公共交通の利用実態や環境が異なるため、各地域の実情に合った生活交通を確保し、合理的で持続可能な生活交通ネットワークの構築に向けて取り組むことが必要と考えています。</p> <p>引き続き交通事業者や関係者と連携しながら新たな取組の検討を進めていきます。</p>	都市整備部	交通政策課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
65	まちづ くり	77	協働による芝生化の 箇所数	<p>幅広歩道などの一部は芝生化してベンチと街路樹（木陰をつくる）をセットで設えると、涼しく美しいウォーカブルな街並みに寄与すると思うが、芝生は芝生で維持費などもかかると思うのでどこを重点的に整備するかが大切か。</p> <p>また、芝生化がある程度整ったならば、上述のように街路樹（木陰をつくる）を増やすことが重要だと考える。</p>	<p>本市における街路樹は、「緑の基本計画」に沿って、整備等を行っているところだ。</p> <p>提案された内容は、限られた空間の中で、芝生化しベンチと街路樹（木陰をつくる）をセットで設置することとなるため、歩行者等の導線等を考慮する必要が生じてまいります。</p> <p>この度の質問に関しましては、今後の道路事業の参考意見とさせていただきます。</p>	都市整備部	河川公園課
66	まちづ くり	81	伝統工芸等後継者育 成支援事業活用者数 の累計	<p>制度の活用に加え、後継者が地域で定着・継続できるよう、暮らしや働き方も含めた支援の仕組みづくりが今後は重要だと感じます。</p>	<p>研修生に対しては、研修後も習得した伝統工芸技術をいかし、生業として生活していけるよう、県と協議を行い支援のあり方を検討していきたいと考えています。</p>	経済観光部	経済・雇用 戦略課
67	まちづ くり	81	伝統工芸等後継者育 成支援事業活用者数 の累計	<p>取組そのものは有意義だと思う。要項のハードルが少し高く、しっかりコミットできる人を募集する内容のため、そこでミスマッチだった場合のリスクが大きくも感じる。補助も参加資格ももう少し軽くして門戸を広げたほうが目的に繋がりがやすいのかもしれない。もしくはコースを2つつくる。</p>	<p>伝統工芸の後継者不足は喫緊の課題となっています。将来にわたり伝統工芸を引き継ぐ後継者を発掘・育成することが事業の目的であるため、習得意欲の高い研修生を確保する観点から、現在のところ募集要件の緩和は考えておりませんが、改めて県や関係団体と連携して、昨年度実施した全国公募等の取組を進めながら、研修生の確保に努めて参ります。</p>	経済観光部	経済・雇用 戦略課
68	まちづ くり	82	地域課題の解決に取り 組むリーダーの認定 者数	<p>リーダーの認定数や交流の機会が増えていくことは一定の成果ですが、実際にその活動が地域課題の解決や中山間地域の振興にどれだけ結びついているかは、住民側からの実感としては見えにくいところもあります。</p> <p>今後は、認定後の活動支援や地域での成果の可視化を通じて、事業の実効性を高める工夫が求められると感じます。</p>	<p>リーダーアカデミーの開校式や成果発表会では、リーダーに認定された人が中心となって活動団体の取組などを紹介しています。また、日頃からリーダーはリーダーアカデミーの受託事業者と連携を図りながら地域課題の解決に向けて様々な取組を行っているところですが、今後はその取組を広く住民に知っていただくために、市としても各種媒体を通じて、周知していきます。</p>	市民生活部	地域振興課
69	まちづ くり	84	鉄道利用者数の減少 抑制	<p>単なる利用促進だけでは抑制には限界もあるように感じます。持続可能な地域交通の在り方を、モビリティ全体の視点から再検討する必要があると感じます。</p>	<p>鉄道利用者の確保については、イベント等の利用促進策に加えて、出発地から目的地まで円滑に移動できる環境づくりが必要と考えており、異なる交通手段をシームレスにつなぐ便利なMaaSチケットの試験導入やキャッシュレス化に取り組んでいます。</p> <p>また、持続可能な地域交通に向けて、鉄道や路線バスを幹線とし、デマンドバスや共助交通等を支線とする合理的な公共交通ネットワークの構築をめざしており、利用促進と併せて、交通事業者や周辺自治体、関係者と検討を進めていきます。</p>	都市整備部	交通政策課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
70	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	<p>利用者が回復してきた今なら、空港・賀露・砂丘くらいはバスで繋がれたらいいと思うが難しいだろうか。</p> <p>鳥取砂丘コナン空港といいつつコナン色ばかりなので、空港にミニ砂丘をつくるなど、鳥取に降り立った瞬間から楽しんでもらえる工夫をしたい。</p>	<p>鳥取空港と周辺観光地を結ぶ二次交通の改善については、鳥取空港ビルや鳥取県、関係事業者等とともに検討を進めており、空港と鳥取港を繋ぐシャトルバスの実証運行を行うなど、二次交通の改善に向けた検証を進めています。</p> <p>鳥取空港において利用者を出迎える環境については、鳥取空港の運営権を有する鳥取空港ビル㈱をはじめ、県や関係者と継続的に検討を行っています。いただいた意見を参考として、お越しの皆様に一層楽しんでいただけるような鳥取らしい工夫ができるよう取り組みます。</p>	都市整備部	交通政策課
71	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	<p>例えばグラウンドゴルフの競技人口は高齢者が大半を占めているが、小中学校の授業にも取り入れるなどで多世代で楽しめるスポーツとし、参加者の底上げをしていく。他競技においても年に一度でなく、地区/学校の運動会で同じ種目を行い、回数を重ねることでより身近なものとして浸透させていく。</p>	<p>現在、鳥取市民スポーツ大会では得点種目において小中学生は出場できませんが、市民スポーツレクリエーション大会等で小中学生が参加できる種目もあります。引き続き、学校に市民スポーツレクリエーションをご案内するなど、小中学生にとってスポーツが身近なものとなるよう取り組んでまいります。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
72	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	<p>少子高齢化や地域のつながりの希薄化により、スポーツ大会の参加者が減少しているという現状については理解できますが、そもそも参加者の募り方や周知の仕方に課題があるのではないかと感じています。</p> <p>私自身、子ども会や町内会などには所属し、地域の活動にも協力的に参加していますが、市民スポーツ大会について声をかけられたことは一度もありませんでした。市全体の大会であるにもかかわらず、案内や募集の機会が限られているのではないかと疑問に思います。可能であれば、募集や広報のルートについて見直すとともに、実際の周知状況や参加者の偏りについて、一度しっかりと検証（監査）してみてもよいのではないかと考えています。より多くの市民が参加しやすくなるような取組に期待しています。</p>	<p>市民スポーツ大会の広報について、募集時から、市報や市ホームページにて誰もが入れる媒体で行っているところです。また、すべての地区体育会と検討会を行ったうえで、鳥取市スポーツ協会に参加申込をしてもらっていますので、選手の選定については、地区体育会に一任しているのが現状です。今後とも地区体育会等とも連携し、より多くの方に参加していただけるよう取り組んでまいります。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
73	まちづくり	91	市民体育祭の延べ参加地区数	<p>参加者減少は、コロナよりも人口減少やライフスタイルの多様化が主因と考えられます。単に大会規模を維持するのではなく、目的（健康促進・交流・地域活性化）に沿った手段を見直す時期かと思います。</p>	<p>毎年、地区体育会やスポーツ推進委員、競技協会と一緒に「鳥取市民スポーツ大会検討会」を開催し、できるだけ多くの方に参加いただけるよう協議しているところです。引き続き検討会を開催し、より多くの校区・市民が参画できる大会を開催し、市民にスポーツを行う機会を提供するとともに、スポーツを通じた地域活性化を図っていきたいと考えます。</p>	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
74	まちづくり	92	こころのプロジェクト「夢の教室」実施校数	生徒数が少ない学校もあるので、何校か合同実施でもよいのかなと思います。子供たちが直接体験する機会を増やしてほしい。	現在、こころのプロジェクト「夢の教室」の実施目的の1つにクラスの団結力の強化があることから合同実施を行わないこととしていますが、今後、実施主体である日本サッカー協会と協議・検討したいと考えます。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
75	まちづくり	95	特定健診の受診率	受診しようと医療機関に連絡したものの予約日がだいぶ先だった。これで受診をやめるケースもありそう。 例えば市の公式ラインから医療機関と予約可能日程の一覧がわかると、予約～受診しやすい。	医療機関での個別健診については医療機関ごとに健診の実施体制が異なることから、市が予約可能な日程を把握・管理することは困難です。なお、集団健診についてはWeb予約システムを導入しており、公式ウェブサイトから予約可能な日程を確認・予約することが可能です。	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
76	まちづくり	96	がん検診の受診率	集団検診のWeb予約ができず、支所に電話予約するという状況になり不便を感じています。予約システムの改善を望みます。	集団健診のWeb予約については、令和6年度までは鳥取地域で実施する健診のみ対象としていましたが、令和7年度から支所地域で実施する健診（地域を巡回する一部の健診を除く）もWeb予約できるようになりました。	健康こども部鳥取市保健所	健康づくり推進課
77	まちづくり	98	集いの場の箇所数	周知に注力してもその成果は見込めるのでしょうか。地域おこし協力隊や地元大学生のアイデアを借りることも試してみたいかがでしょうか。対象を高齢者に絞らず試行するのも1案かと思います。	通いの場となるサロン活動を周知することにより、閉じこもりがちな高齢者等に健康づくりや介護予防を目的に、周囲から社会参加を促すことにつながると考えます。通いの場は、世代を問わない交流を図る場としての役割も求められていることから、地域の多様な主体の参画を得ながら地域の実情にあわせた取組になるよう努めます。	福祉部	長寿社会課
78	まちづくり	99	シルバー人材センター登録会員数	登録者数の把握だけでなく、実際にその方々が働ける「仕事先（事業者）」の確保状況や、どれだけの登録者が実際に就業できているのかといった実績も、今後はあわせて統計として把握・分析していくことが重要だと思います。登録だけで終わるのではなく、実働につながってこそ、真に地域の力として活かされるのではないのでしょうか。	シルバー人材センターでは「中期事業基本計画」を策定し、会員数や就業率、受託件数などの目標を定めており、その実績については、本市にも報告をいただいています。令和6年度の実績は、就業率89.3%、受注件数5,082件でしたが、いずれも目標には届いていません。本市としては、引き続き活動をPRしていきたいと考えています。	経済観光部	経済・雇用戦略課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
79	まちづくり	100	地域活動に参加したことがある市民の割合	地区によって年齢層だったり戸建て/マンションだったり、地域コミュニティの温度感がだいぶ違うが、祭りの有無は特に影響が大きいと思う。祭りがある地区だと、それをきっかけにコミュニティとの接点をつくりやすく、日常的な関係性構築につながっていく。地区の運動会などの催しも同様。それらの開催や周知をサポートすることは一定の効果があると思う。	本市では、各地区まちづくり協議会が実施される地区運動会、地区納涼祭といった「まちづくり計画」に掲載されている交流事業や、各町内会が開催される夏祭りや親睦会等のイベントなどに対し、開催費や広報費などの助成を行っています。 制度を活用された町内会等からは、「イベントの実施により相互のつながりが再形成できた」、「住民の交流で町内会への愛着が深まった」などのご感想もいただいております、会員同士の関係構築や維持の一助となっていると実感しています。	市民生活部	協働推進課
80	まちづくり	100	地域活動に参加したことがある市民の割合	過去1年間に地域活動に参加したことがない人が4割近くある(100-64.2=35.8)のは、多すぎると思う。自治連や各まちづくり協議会などを通じた市民啓発が必要なのは。	人口減少や少子高齢化、そして生活様式や価値観の多様化により、地域活動に対する関心が薄れていると考えています。 市民アンケートの当該質問は、地区や町内会に限定せず地域活動全般への参加の有無について尋ねており、それぞれのご家庭によって地域との関わり方は異なると思いますので、地域の実情や特性に合った手法を検討しながら啓発活動に取り組んでいきたいと考えます。	市民生活部	協働推進課
81	まちづくり	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	ボランティアには環境、美化、教育、防災などさまざまな分野がある中で、なぜ福祉分野のボランティアに限定して、鳥取市が特に行政として取り組んでいるのか、疑問を感じます。 もちろん福祉の重要性は理解していますが、他の分野で活動している市民ボランティアとのバランスや公平性の観点からも、福祉分野だけを行政が強く後押しする理由を明確にする必要があるのではないのでしょうか。全体として地域社会を支えるボランティアをどう位置づけ、行政としてどこまで関与し、どこは自主的な市民活動として尊重するのか、その整理と説明を聞いてみたいと感じました。	本市では、これまでも自然を守る美化活動や、生活環境を守る活動、自然災害に対する災害ボランティアなど、福祉に限定せずボランティア活動の取組を推進しています。 また、本市では、市民が気軽に参加いただけるようボランティア活動の拠点・総合窓口として鳥取市ボランティア・市民活動センターを開設し、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアをしたい市民とボランティアを募集している事業者等を引き合わせるボランティアマッチングにも取り組んでいます。 「福祉ボランティアの活動に参加した市民の割合」は、重点施策の一つの「地域福祉のまちづくりの推進」の取組を進めるにあたっての数値目標としていただいております。 本市では、誰もが住み慣れた地域で、共に助け合い、支えあいながら、生きがいを持ち、いつまでも安心して暮らせる地域共生社会の実現を推進しており、地域のコミュニティ意識が希薄になる中で、自らが、住み良い地域をつくっていかうとする意識を持っていただき、活動に参画していただくことは、重要なことだと考えています。 ボランティアは自発的な意思に基づくものでありますが、地域福祉の分野では、地域における見守りなどボランティアに支えられる部分が大きいと考えますので、そのきっかけをつくるなど、自主的な活動を支援していくことは大切なことだと考えています。	市民生活部	協働推進課
						福祉部	地域福祉課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
82	まちづくり	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	福祉ボランティア活動への参加率の減少は、コロナ禍による活動縮小だけでなく、地域との接点の減少や関心の希薄化が影響していると考えられます。地域を支える企業や地域おこし協力隊を巻き込み、農業イベントに「食・自然・文化」を通じた交流型の活動を創出するなどの視点を変えた工夫もできるのではないかと思います。	地域共生社会は、人と人、人と資源が世代を超え、分野を超えてつながること、地域とともに創っていくことと認識しています。 ご提案のような地域を支える企業や人を巻き込んだ交流型の活動などさまざまな工夫をすることで地域活動の創出やボランティア活動への参画を後押しすることにつながると考えます。	福祉部	地域福祉課
83	まちづくり	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	市民の参加協力があまりにも少ないと思う。ボランティア活動の機会のPRが必要と思う。	地域食堂などの誰もが集える場や、地域の行事、見守りなどの活動を紹介し、参加したい、してみたいと思う人を増やしていくとともに、市民活動センターの充実による全市民的な啓発も必要であると考えています。	福祉部	地域福祉課
84	まちづくり	101	福祉ボランティア活動に参加した市民の割合	具体的にどのような取組があるのかがあまりイメージできない。重要性は理解されているはずなので、機会をしっかりと周知していきたい。	地区の福祉ボランティアの取組例としては、愛の訪問協力員、となり組福祉員、つながりサポーター、認知症サポーター、ふれあい型食事サービスの調理・配食ボランティア、いきいきふれあいサロンの運営などが挙げられます。 こども・大人など年代に関わらず福祉へ関心を持ってもらい、地域福祉活動のきっかけを作り、実際に参加していただけるよう、学校や地域において福祉学習の機会の充実を図ってまいります。	福祉部	地域福祉課
85	まちづくり	102	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	「市民満足度指数」とは、何かよくわかりません。	当該年度に実施した市民アンケート調査において、「お住まいの地域の住みやすさ」に関して、「満足、やや満足、やや不満、不満、わからない」で回答していただいております、この回答結果をもとに満足度指数を積算しました。 本指標については、高齢者福祉3項目（①高齢者の在宅福祉サービスについて、②老人福祉施設、老人保健施設などのサービスについて、③高齢者の働き場所や生きがいづくりの場について）の指数の平均値（最大5ポイント）としています。	福祉部	長寿社会課
86	まちづくり	105	若者が取り組むまちづくり事業の支援	若者が地域活動に関わることで、その地域に親しみや愛着がわくのでは。積極的に公民館等に働きかけて地域と若者の関係性を築いてほしい。	本事業は、若者の新たな発想を取り入れ地域の魅力創造や活性化、地域課題の解決が推進されること、また、活動を通じて若者と地域がつながり絆を深め、持続的にまちづくりに参画する人材を育成することを目的として実施しています。 実際に、本事業に参加いただいた大学生が、卒業後に市内に就職された例もあり、この事業における地域活動への関わりが、鳥取市への愛着の醸成の一助となったものと考えています。 今後も、制度活用について地区公民館に積極的に周知を図り、若者の参画を促進していきたいと考えます。	市民生活部	協働推進課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	回答内容	回答部局	回答課
87	まちづ くり	106	地域活動の支援	引き続き、町内会の活動を支援してほしい。	本市では、各町内会が開催される夏祭りや親睦会等のイベントに対して活動費を助成する、地域コミュニティ活動支援に取り組んでいます。 町内会が活用しやすい制度となるよう、適宜制度の見直しを行いながら、引き続き町内会の活動支援に取り組んでいきたいと考えます。	市民生活部	協働推進課
88	まちづ くり	106	地域活動の支援	活動自体の見直しも必要な時期になっているように思います。一方で、地域おこし協力隊や学生ボランティアを、町内会活動に参画できる仕組みを整えることも一案かと思いました。	加入世帯の減少や構成員の高齢化、役員のなり手不足などにより、これまでの活動の継続が難しい状況の中、実際に、会員にアンケートを実施され、活動内容の見直しに取り組まれている町内会もあると伺っています。 町内会活動に、地域おこし協力隊や学生ボランティアに参画いただくことは、活動の活性化策として大変有効と考えます。本市で仕組みを構築することは難しいかもしれませんが、町内会活動の支援の参考にさせていただきたいと思います。	市民生活部	協働推進課
89	まちづ くり	108	共生型サービスの実 施事業者数	共生型サービスの概念を「地域産業と福祉の共生」へ広げてはどうでしょうか。	障がいのある人が障害福祉サービスを受ける場合、障害者総合支援法に基づいてサービスが提供されますが、65歳を迎えると介護保険制度の対象となり、それまで利用されていた事業所から介護保険サービスを提供する事業所に移っていただくことになります。 そこで、平成30年に「共生型サービス」が開始されてからは、共生型サービスの指定を受けた事業所であれば、同じ事業所でサービスを受けることができるようになったものです。 令和6年度に事業所を対象に実施したアンケート調査では、共生型サービスの制度などについて相談したい意向の事業所もあったことから、相談体制を整えるなど取り組んでまいります。 共生型サービスの実施により、「人口減少社会にあっても、地域の実情に応じたサービス提供体制整備や人材確保を行うことができる。」「各地域で地域包括ケア・福祉のまちづくりを展開するためのきっかけになる。」ことが期待できるとされています。 ご提案の「地域産業と福祉の共生」については、高齢者も障がいのある人も誰もが参加しやすい環境づくりのための取組につながるものと考えますので、地域共生社会に向けて取組を進めていく中で、引き続き検討していきたいと考えます。	福祉部	指導監査室

5. 外部評価ご感想等

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
1	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	出産・乳幼児期の支援はたくさんあり、支援センターや未就園児のサークルもたくさんあり、保護者同士の情報共有や子どもを遊ばせる場所が増えたと思う。だが、そこまでに至る結婚・妊娠までのハードルや意欲・機会が減少しているのか、出生率が上がっていないのは残念に思う。	企画推進部	地方創生推進室
2	ひとづくり	1	鳥取市の合計特殊出生率	目標値から見ると、③と判定せざるを得ません。（ただし、国全体も同様に低下しているので、実態としては②としてもいいという思いがあります。）R4が増加した理由が気になりますが、出産適齢期の夫婦の市内転入がたまたま多かったというような理由も考えられますので、一喜一憂しても仕方ないと思います。	企画推進部	地方創生推進室
3	ひとづくり	2	「子育てを楽しい」と思う市民の割合	アプリやホームページなど、スマホが普及している現代になり、情報の取得は簡単になったと思う。しかし、自治体に入会しない集合住宅も多く、市報や地域の情報など、自分が必要としない情報は目に触れにくく情報の地域や近所の人との関わりが希薄になっているのも感じる。地域での子育てが楽しいと感じられればいいと思う。	健康こども部 こども家庭局	こども未来課
4	ひとづくり	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	1歳での保育園入園希望が増え、自宅保育の減少が顕著になっている。子育て支援は充実していても、保育園入園希望者は子育てしにくいと感じることもあると思うので、養育環境によって回答に差が出るような気がする。	健康こども部 こども家庭局	こども未来課
5	ひとづくり	3	「子育てしやすい環境」と思う市民の割合	経済的支援は必要だが、延長保育や学童保育の時間が限られているため、親・親戚の協力がなければとても厳しいと思います。	健康こども部 こども家庭局	こども未来課
6	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	この件については、目標値をあまり気にしなくてもよいと思います。市政として、出会いの場を提供できているのであれば、あとは個人のプライベートな問題だと思います。（相談に対応は必要）	企画推進部	政策企画課
7	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	サンプルの実数が少なく達成率として比較するのは無理があるように感じられますが、R6は増加しているのもう少し様子を見ることでいいと思います。	企画推進部	政策企画課
8	ひとづくり	4	麒麟のまち婚活サポートセンターにおける成婚数	婚活アプリ等、周囲に知られずに婚活できる現代において、鳥取という狭い地域（友だちの友だちは知り合いみたいな）環境での婚活には抵抗があるのかもしれない。「婚活」がもっとオープンに世間の印象がよくなればもっと成婚率があがるような気がする。	企画推進部	政策企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
9	ひとづくり	5	妊婦相談率	コロナ期が明け、人が集まれる環境が戻ってきたのが、妊婦同士の交流や保健師さんに相談できる、しよと思える環境になったのが大きな要因に思う。	健康こども部 こども家庭局	こども家庭センター
10	ひとづくり	6	新生児訪問の訪問率	コロナ期が明け、人と対面してもいいと思えるゆとりができたことも大きな要因に思う。	健康こども部 こども家庭局	こども家庭センター
11	ひとづくり	7	保育園の待機児童数（4月1日現在）	待機児童者数ゼロは達成できていても、実際は兄弟姉妹で別の園に通園している家庭も多数と聞くので、送迎の労力や負担は表面的な数字だけでは達成できたとは一概には言えないと思う。	健康こども部 こども家庭局	幼児保育課
12	ひとづくり	8	保育園の待機児童数（10月1日現在）	途中入園に関する待機児童数ゼロを達成できていても、1歳時4月入園の難しさを考慮して、途中入園を希望する家庭があると耳にするので、トータルでみると達成できたとはいいがたいように思う。	健康こども部 こども家庭局	幼児保育課
13	ひとづくり	10	療育事業に継続参加した幼児・保護者の満足度	放課後デイサービスと療育支援が充実してきていていい傾向にあると思う。	健康こども部 こども家庭局	こども発達支援センター
14	ひとづくり	11	鳥取市男女共同参画かがやき企業認定数	女性の社会復帰率が向上していると思う。	総務部人権政策局	男女共同参画課
15	ひとづくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）	小学校低学年で地域・町探検を行ったり、地域のお年寄りに昔遊びや昔の地域のことを教えてもらえる機会があったりと、とてもいい経験をしていると思う。また、伝統芸能（しゃんしゃん傘など）を経験する機会もあり、郷土愛を深めることができていると思う。	教育委員会事務局	学校教育課
16	ひとづくり	12	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（小学校）	R5→R6実績値が4.6%高くなっており、確かな取組が継続されていることがうかがわれる。	教育委員会事務局	学校教育課
17	ひとづくり	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）	小学生とは違い、将来像をはっきりと見据えて進路を決定していく時期なので、鳥取で将来活躍したい、地域貢献していきたいと思えるような学習や地域の人・もの・ことと関わることができるといいと思う。	教育委員会事務局	学校教育課
18	ひとづくり	13	地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合（中学校）	全国平均を3.6ポイント上回っていることは大きく評価してよいと考える。取組の継続と、生徒が取り組む価値を感じられる内容の工夫をしていってもらいたい。	教育委員会事務局	学校教育課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
19	ひとづくり	14	生涯学習講座の参加者の満足度	地域関係なく、またネット配信で受講できるのはとてもいいと思う。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
20	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（小学校）	「あてはまる」「どちらかと言えば当てはまる」との回答と全国比較の学力結果での鳥取の低さを考えると、あまり成果があるとは思えない。近年は通塾する児童も増え、学校での授業だけで「よくわかる」と判断するのは難しいと思う。	教育委員会事務局	学校教育課
21	ひとづくり	15	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（小学校）	教員不足の中、授業の質を保つ現場の努力に頭が下がります。	教育委員会事務局	学校教育課
22	ひとづくり	16	授業がよくわかると思う児童生徒の割合（中学校）	中学校こそ、通塾する生徒が多く、学校の授業内容だけで統計が取れるようには思わない。	教育委員会事務局	学校教育課
23	ひとづくり	18	学校が楽しいと思う児童生徒の割合（中学校）	R3から4年間のなかでは達成率が一番低くなっているの、現状に安心しきらず「楽しさ」の内容を深めていっていただきたい。	教育委員会事務局	学校教育課
24	ひとづくり	19	地区公民館事業の取組評価	若い世代の公民館事業の認知度、参加率は高くない様に思う。もっと多くの人に利用してもらえるようになればいいと思う。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
25	ひとづくり	20	地区公民館への専門職員の配置割合	平日・日中の利用者が限られてくるので仕方ないようにも思う。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
26	ひとづくり	21	地域学校協働本部の設置数	地域学校協働本部の設置数が大きく増えており、努力の成果だと考えます。設置後の運営の継続支援もよろしくお願いします。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
27	しごとづくり	22	就業者1人あたりの市内GDP	農林水産業部間で、この施策の効果の発現は少ないと思います。	農林水産部	農政企画課
28	しごとづくり	23	大学生県内就職率	実績値はほぼ安定している。特に有効な施策もない。	経済観光部	経済・雇用戦略課
29	しごとづくり	23	大学生県内就職率	4年生大学の県内就職率が少ないと感じます。	経済観光部	経済・雇用戦略課
30	しごとづくり	24	市内製造品出荷額等	出荷額等ではこんなところでしょう。付加価値生産性を高める施策を期待する。	経済観光部	企業立地・支援課
31	しごとづくり	26	市内農業産出額	引き続き、県の補助事業等の補助負担による地域農業生産にご教示願います。	農林水産部	農政企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
32	しごと づくり	28	市内漁獲量	できるだけ1,500tあたりを維持してほしい。	農林水産部	林務水産課
33	しごと づくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	目標達成が困難な事業。	経済観光部	経済・雇用戦略課
34	しごと づくり	31	留学生地域就労支援事業でのインターンシップ参加者の市内就職者数の累計	農業部間への検討をすすめてもらいたい。	農林水産部	農政企画課
35	しごと づくり	36	補助事業指定企業における投下固定資産額の累計	活発に利用されているとは見えないが、概ね順調で良い。	経済観光部	企業立地・支援課
36	しごと づくり	37	産学官連携による新技術開発事業活用件数の累計	もはや存続させる意味がない。	経済観光部	経済・雇用戦略課
37	しごと づくり	38	鳥取市国際経済発展協議会の地元企業海外進出等に対する支援の累計件数	トランプ関税の影響を注視する必要がある。	経済観光部	経済・雇用戦略課
38	しごと づくり	41	麒麟のまち関西情報発信拠点での売上金額の累計	関西情報発信拠点は、立地の悪さの割にはよくやっている。アンテナショップとして必要な役割を果たしている。	経済観光部	経済・雇用戦略課
39	しごと づくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	現状維持できているだけでもよくやっている。	経済観光部	経済・雇用戦略課
40	しごと づくり	42	市公設地方卸売市場の取扱高の累計	次世代対応可能な整備拡充をお願いします。	経済観光部	経済・雇用戦略課
41	しごと づくり	43	市内の新規農業担い手数の累計	JAとの連携をより密にして進めて下さい。	農林水産部	農政企画課
42	しごと づくり	45	市内の新規漁業就業者数の累計	毎年1人新規就業しており、このまま維持していけばいい。	農林水産部	林務水産課
43	しごと づくり	46	市戦略作物の出荷量	JAの推進の効果が、これまで以上に必要と思う。	農林水産部	農政企画課
44	しごと づくり	48	担い手農家への農地集積率	新規就農者も多くない中、農地集積に対する足枷は何か。安心して農地を貸せる方法は何か検討する。	農林水産部	農政企画課
45	しごと づくり	53	スマート農業支援件数の累計	メーカー（クボタ、ヤンマー）との連携含め、より知見ある外部活用によるスマート農業推進の必要性を痛感しております。	農林水産部	農政企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
46	まちづくり	54	移住定住者数	引き続き、きめ細やかで丁寧な情報発信に努めていただきたい。	市民生活部	地域振興課
47	まちづくり	55	観光入込客数	宿泊の拠点となる鳥取駅周辺から車で20-30分の圏域に見所が多いので、周遊観光促進事業のような交通系施策で観光客に存分に楽しんでもらえる態勢を少しずつ整えていけると素敵ですね。 もう少し小さい範囲でいうとハローサイクルも時間にとられずに鳥取砂丘へアクセスできたりするので、このような気軽なモビリティももっと広まればいいなと思います。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
48	まちづくり	56	市民愛着度	「市への愛着や親しみ」を指標とすることは、主観的で多面的な要素を含むため、評価が難しい側面もあると考えられます。あわせて、生活環境や行政サービスに対する満足度といった、より具体的な項目を含めた評価も取り入れることで、市民の実感に寄り添いながら、愛着度向上に向けた施策の検討に活かせるのではないかと感じました。	企画推進部	政策企画課
49	まちづくり	56	市民愛着度	市民アンケート調査のみで評価することは難しいと思う。「市民のシティプライドの醸成」は、市職員はもとより、公民館職員等へも啓発していただきたい。	企画推進部	政策企画課
50	まちづくり	56	市民愛着度	シティプライドの醸成に関する具体的な取組や、どこで誰に聞き取り調査をしたのかが不明です。この課だけの取組なのか、市全体の取組を代表して評価したものなのかも分かりません。 もしこの課がアンケートを回収する役割であれば、最後の『引き続き市民愛着度の向上・進化につながる効果的な取組を検討』という文言は不要ではないかと思います。 今後、課題と評価基準を明確にする必要があります。	企画推進部	政策企画課
51	まちづくり	56	市民愛着度	鳥取に愛着や親しみを感じている市民の割合が6割を切っているのは、なかなかまずい状況ではないかと思う。市民のニーズにこたえて鳥取にないもの/足りないものを補っていくことも大切ではあるが、鳥取に今すでにある資源の魅力を市民に知らしめていくことこそが重要だと考える。 豊かな自然との近さを具体的な活用にかすなど（例えば学校の課外授業にもっと取り組む、周辺に魅力的な施設やアクティビティを増やす補助、…）	企画推進部	政策企画課
52	まちづくり	57	地域魅力度	地域ブランド調査における「魅力度」の順位は、認知度やイメージに強く影響される指標であると感じます。そのため、魅力度の数値評価に加えて、実際に鳥取市を訪れた人の満足度や、関係人口・リピーターの動向など、体験に基づく評価指標の導入も併せて検討することで、より実像に即したシティセールス戦略の構築が可能になるように思います。	企画推進部	政策企画課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
53	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	人口減少は全国的な傾向であり、構成市町の合計人口の減少も一定の前提として受け止められます。その中で、圏域連携による持続可能な地域形成を目指すことは重要だと感じます。引き続き中長期的な視点での取組の深化を期待したいです。	企画推進部	政策企画課
54	まちづくり	58	麒麟のまち圏域の人口	人口推移は置いておいて、そもそも「麒麟のまち」という圏域を意識している人がまだまだ少ないと思う。圏域の存在/魅力の発信を継続。	企画推進部	政策企画課
55	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	空家はかなりの数で各地域に存在していると思う。有効活用している事例照会とか、積極的な研修活動を行ってほしい。	市民生活部	地域振興課
56	まちづくり	60	中山間地域における空き家登録件数の累計	継続して新規登録があり順調。納税情報などの各部署のデータを総動員して利用促進していくとこのことで期待。	市民生活部	地域振興課
57	まちづくり	61	魅力ある民泊に向けた取組団体数	民泊も前例が増えて基準が定まってきたので、始めやすくなっている。件数と合わせて、補助対象事業がどのようないい影響を与えるかも追求していきたい。	市民生活部	地域振興課
58	まちづくり	64	外国人宿泊者数	日本へのインバウンド増加で、本市への宿泊数は増えていると思うが、一層の取組は必要と思う。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
59	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	目標は達成されていますが、モニター調査には限界もあるため、今後は市民や訪問者が「鳥取らしさ」をどう実感しているかといった、体験に基づく評価もあればと思います。	企画推進部	政策企画課
60	まちづくり	65	シティセールス取組評価値	本市の職員研修はもとより、公民館職員など関係団体の職員研修も積極的にやってほしい。	企画推進部	政策企画課
61	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	市の公式LINEはとてもよくできているし、市民にダイレクトに情報を届けられる貴重な接点なので、予算をしっかりとかけて各メディアなどでも周知し、より多くの人に使ってもらえるようにしていきたい。	企画推進部	秘書課広報室
62	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	公式LINEの配信機能が充実し、ごみの収集日やセグメント配信などが行われることで、私自身市民としてもとても助かっています。 また、キャンペーンやイベント参加を通じた登録者数の増加に向けた取組が、市政情報の発信に大きく貢献していることが感じられます。	企画推進部	秘書課広報室

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
63	まちづくり	66	市が管理する主なSNSのフォロワー数	本市から直接行う情報提供も必要ですが、東京などの中心部が発信していくことも効果的だと思われる。	企画推進部	秘書課広報室
64	まちづくり	67	市内文化活動団体連合組織への加入団体数	加盟団体数だけでは文化芸術の広がりを十分に捉えきれないため、多様な世代の参加や地域外との交流を促す視点も加えてはどうかと思います。	企画推進部	文化交流課
65	まちづくり	69	麒麟のまち圏域への観光入込客数	観光入込客数はいいとして、鳥取市で暮らしていてもブランドが浸透している実感がない。麒麟獅子についてはある程度認知されているかもしれないが圏域そのもののへの認知をどう高めていくか、今後も推進していくとするならより工夫が必要そう。	経済観光部	観光・ジオパーク推進課
66	まちづくり	70	麒麟のまち圏域への移住者数	今後は圏域連携による魅力や価値の創出を可視化していく視点も必要かと思います。	市民生活部	地域振興課
67	まちづくり	71	安全、迅速に移動できる幹線道路整備の市民満足度	満足度は多くの要因に左右されるため、整備状況との連動や市民の実感を丁寧に捉える評価も必要かと考えます。	都市整備部	都市企画課
68	まちづくり	72	中心市街地の居住人口（社会増減数）	市内転居による減少が顕著な今、中心市街地の利便性や魅力向上に向けた実質的な環境整備が今後はより求められると思います。	都市整備部	まちなか未来創造課
69	まちづくり	73	小さな拠点の形成箇所数	中山間地域にとって「小さな拠点」づくりは効果的だと思うので、進めてほしい。	市民生活部	地域振興課
70	まちづくり	74	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	運転手や乗客数の減少、路線の縮小、キャッシュレス化など、公共交通事業を取り巻く環境はますます厳しくなっています。特に、現状では収益だけでこれらの問題を賄うのは難しいと考えます。公共交通は、まさに公益事業として、市民の生活を支える重要なインフラであり、税金をどこまで投入するのかという点も重要なポイントだと思います。また、キャッシュレス化の推進に関しても、若者を中心に普及しているとはいえ、高齢者にとってはハードルが高いのが現実です。どこまでキャッシュレス化を進めるべきか、また、どのようにして高齢者を支援するかという課題もあると思います。	都市整備部	交通政策課
71	まちづくり	74	鉄道、バスなどの公共交通の便利さの満足度	満足度だけでなく、公共交通の利用実感や地域ごとのアクセス状況を把握する視点も今後は重要になると思います。	都市整備部	交通政策課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
72	まちづくり	75	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	公共空間にWi-Fiと合わせて、充電できる設備があると気が利いていると思う。細かいところではあるが、満足度向上にはそれなりに効果的。	企画推進部	デジタル戦略課
73	まちづくり	75	インターネットやケーブルテレビの情報通信環境の満足度	インフラ整備の進展と満足度が必ずしも連動していない点に留意し、今後は利便性の実感や利用しやすさといった体験の質を高める工夫も重要になると感じます。	企画推進部	デジタル戦略課
74	まちづくり	77	協働による芝生化の箇所数	芝生化の広がりが一定の段階に達した今、今後はその活用や維持、地域との関わりを通じた生活環境の質の向上が求められると感じます。	都市整備部	河川公園課
75	まちづくり	78	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日）	そもそも魅力的な場所を増やさないといけない、というのは一度置いて通行量と合わせて、どんな人がどのように通りを利用するかが大切。鳥取の魅力の一つは駅前でも老若男女のびのびと歩けることだと思うので、強みを伸ばす設計をしたい。それは前項の芝生化だったり一休みできる街路樹の木陰とベンチだったりする。中心市街地の道を、通行するだけでなく過ごして気持ちいい場所として活用していきたい。	都市整備部	まちなか未来創造課
76	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	例えば各所にベンチが置かれているが、服屋の前にあるより飲食店の前にあったほうが利用イメージが湧く。歩道幅に余裕があるので、店舗からもっと商品やお客さんがはみ出ることを歓迎したい。 休日に歩く人たちが、目的地へ向けて通過するだけでなく、歩道沿いの店舗と歩道そのものをより楽しめるよう戦略的に設計したい。	都市整備部	まちなか未来創造課
77	まちづくり	79	中心市街地における歩行者・自転車通行量（休日）	休日の来街動機を高めるため、目的性のある“にぎわいづくり”が今後はより求められると思います。	都市整備部	まちなか未来創造課
78	まちづくり	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	件数の増加に加えて、担い手の育成や継続性、地域への波及効果といった「質」の視点も重視すべき段階に来ていると感じます。	市民生活部	地域振興課
79	まちづくり	80	住民自らが主体となった中山間地域活性化の取組件数	中山間地域は、少子高齢化が進んでいます。事業のPRを図り地域住民自らが、地域の維持・継承が図れるようにしてほしい。	市民生活部	地域振興課
80	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	継続的な公募とともに、受け入れ側の環境づくりや、地域全体で伝統を支える仕組みづくりにも力を入れていく必要があると思います。伝統工芸が「職人の技」としてだけでなく、「地域の財産」として未来に受け継がれていくことを期待します。	経済観光部	経済・雇用戦略課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
81	まちづくり	81	伝統工芸等後継者育成支援事業活用者数の累計	積極的に人材育成をお願いしたい。	経済観光部	経済・雇用戦略課
82	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	地域リーダーの養成は必須です。特に若者リーダー養成をお願いしたい。	市民生活部	地域振興課
83	まちづくり	82	地域課題の解決に取り組むリーダーの認定者数	認定者全員が活躍しなくとも、何割かでも精力的に活動してくれれば価値があると思う。そのためにも認定者のその後の活動をフォローし、キーパーソンとなりうる人材を見つけ、サポートを厚くしたい。	市民生活部	地域振興課
84	まちづくり	83	共助交通の導入件数	共助交通は、地域住民同士が支え合いながら運行する仕組みであり、路線バスに代わる柔軟な移動手段として、特に高齢者や交通弱者にとって大きな安心材料となります。導入が進み、安定的に運行されることで、買い物や通院など日常の暮らしがぐっと便利になり、生活の質も向上すると期待されます。	都市整備部	交通政策課
85	まちづくり	83	共助交通の導入件数	今後ますます重要な施策になってくると感じています。国府地域ではなおさらです。	都市整備部	交通政策課
86	まちづくり	84	鉄道利用者数の減少抑制	駅舎を活用することで、鉄道の利用にも繋げたいし、わずかながら鉄道会社にも潤ってもらいたい。	都市整備部	交通政策課
87	まちづくり	85	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	利用者数の回復は、全国的な需要回復の流れが主因と見られる中で、自治体独自の取組による効果や空港の地域への貢献度をどう評価・活用していくかが今後の課題だと感じます。	都市整備部	交通政策課
88	まちづくり	87	公共Wi-Fiの拠点数	設置場所の優先順位や有効性を見極めた整備と周知が求められると思います。	企画推進部	デジタル戦略課
89	まちづくり	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	公式LINEからも電子申請にスムーズに移行でき、使い勝手がいい。	企画推進部	デジタル戦略課
90	まちづくり	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	保育所の利用者は主に子育て世代であり、デジタル機器やオンライン手続きへの抵抗感が比較的少ない年齢層だと思います。そういった意味でも、保育関連の手続きに電子申請を導入することは非常に理にかなっており、今後さらにDXや手続きの簡略化を進めていくべき分野だと感じます。	企画推進部	デジタル戦略課
91	まちづくり	88	とっとり電子申請サービスの利用件数	行政手続きの利便性向上に一定の効果が表れていると、実感も含めて感じています。	企画推進部	デジタル戦略課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
92	まちづくり	93	学校体育館等の延べスポーツ利用者数	自主的にスポーツに取り組む団体が増えているのかな。	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課
93	まちづくり	94	地域等での健康教育・相談の延べ参加者数	健康に対する意識や、ちょっとした「きっかけ」は本当に大切だと感じています。実際、健康についての基本的なことでも「そんなこと知らなかった」という人は意外と多く、少し話をするだけで「あ、それやってみようかな」と前向きな反応が返ってくることもあります。 難しいことや大がかりな取組ではなく、日常の中で気軽に触れられるような場や情報が、健康づくりの第一歩になるのではないかと思います。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課
94	まちづくり	95	特定健診の受診率	近年、個人や企業単位での健康意識が高まっており、実際には特定健診ではなく、健保協会や人間ドックなど他の手段で健康診断を受けているケースが多く見られます。そのため、特定健診の受診率だけをもって「受診率が低い」と判断するのではなく、全体的な受診状況を把握した上で評価すべきだと思います。 また、もし健診自体の実施率は高いのに、特定健診の受診券があまり使われていないのであれば、制度や仕組みに何らかの使いづらさがある可能性も考えられます。利用者目線での改善や、より柔軟な運用が必要だと感じます。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課
95	まちづくり	96	がん検診の受診率	地方と都市部では給与水準などが違い、それでも鳥取で働くことを選んでくれる方への還元として、健康経営というのは欠かすことができない考え方だと思う。心身健康的にのびのびと働ける鳥取。 検診の受診勧奨はその簡単な初手になるので、そのあたりの全体感も合わせて啓蒙していきたい。	健康こども部 鳥取市保健所	健康づくり推進課
96	まちづくり	102	高齢者福祉関係の市民満足度指数の平均値	身近にアクセス可能な鳥取温泉は高齢者福祉においてもプラスアルファとなりうるので、その魅力をしっかりと啓蒙していきたい。	福祉部	長寿社会課
97	まちづくり	103	国際的な交流の機会・場所に対する重要度	鳥取大学にきている留学生と地元のイベントで（殿のさくら姫交流、逢坂大堤のうぐいつき）話しをする機会がありますが、彼らは交流を望んでいます。	企画推進部	文化交流課
98	まちづくり	104	自主防災活動助成件数	各地域の自主防災組織に、引き続き必要な経費の支援をお願いしたいです。	危機管理部	危機管理課

ご意見 No.	柱	指標 No.	評価指標	質問内容	担当部局	担当課
99	まちづくり	107	地域食堂の設置校区数	子育てをしている身として、同じ地域に貧困や困難を抱えている子どもたちがいるという実感は、正直なところ日常生活の中ではなかなか見えません。家庭という閉ざされた空間の中で起きている課題は、周囲からは見えにくく、だからこそ見過ごされてしまいがちです。だからこそ、税情報や世帯状況など、行政にしか見えない視点からのアプローチが必要だと強く感じます。行政だからこそ気づける小さなサインを見逃さず、困っている子どもたちにいち早く手を差し伸べるような仕組みづくりが求められていると思います。地域食堂が「地域の居場所」として多様な人々が関わる場になることは素晴らしいことですが、単に場所をつくるだけでなく、本当に支援が必要な子どもたちに届くための視点と配慮を、行政主導で徹底してほしいと願っています。	総務部人権政策局	人権推進課
100	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	目標値、実績値ともに停滞傾向が感じられる。事業者側からの意見を重視しながら、事業内容の展開を確認するなどの工夫が必要と思われる。	福祉部	長寿社会課
101	まちづくり	109	医療・介護事業者の連携達成度指数の平均値	関連事業者だけでなく、広く他業種からの連携可能性も探るべく、研修会や事例検討会もよりオープンな機会をつくっていけるとよいかもしれない。	福祉部	長寿社会課
102	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	AI普及などにより人材が過剰となる業界などからの人材確保も期待。	福祉部	長寿社会課
103	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	達成率実績の振れ幅が年度によって大きく、評価を収束しづらい面もある。介護人材の充足は、他業種を含め労働市場全体の動向にも左右されるところから、多面的な方向からの分析にも留意し続ける必要がある。	福祉部	長寿社会課
104	まちづくり	114	介護保険施設職員の平均充足度	既存制度では児童・高齢福祉が分断されていますが、「地域共生社会の拠点づくり」という視点で施設や人材を繋ぎ直すことは、国の方針とも合致し、地域福祉の持続可能性に資すると考えます。世代を越えて共に生きる場の創出が重要と考えます。	福祉部	長寿社会課
105	まちづくり	115	国際交流員の国際理解講座等への派遣回数	内部評価にありますように、幅広く事業の周知をお願いします。私がすぐに行うこととして、在籍する国府町地域おこし協力隊が主体となり、国府地域での活動につなげていきたいと思っています。	企画推進部	文化交流課